

地域貢献評価報告書

2005～2006年度

**諏訪東京理科大学
地域貢献評価委員会**

はじめに

本学は、「工学と経営学の融合教育」で、エンジニアリングとマネジメントを総合的に学び、人間性及び創造性豊かな有為な人材を育成するとともに、地域住民の生涯学習と地域企業の技術力・経営力の向上に寄与することを目的として開学いたしました。

平成17年度には完成年度を迎える、卒業研究の学生が各研究室に配属され、活発な研究成果のもと第1期生の多くが地元地域に就職しました。さらに、平成18年度には大学院生も誕生し、新しい戦力が生まれ地域との交流が更に活発化されています。

特に地域への貢献活動として、地域住民に対しては大学施設の開放や「出前授業」をはじめとする公開講座を開催し、また、地域企業とは共同研究等、産学公連携事業を積極的に推進・支援する体制を整え、地域に開かれた大学づくりを教職員一同、努力しているところでございます。

このたび、信州大学工学部、遠藤守信教授はじめ7名の委員の方々には大変ご多忙の中、完成年度後の平成17、18年度の地域貢献活動について点検・評価をいただき本報告書がまとまりました。委員をお引受けいただいた方々に厚く御礼申し上げます。

今後とも、より一層地域に開かれた大学として様々な事業を展開し貢献してまいりますので、何卒よろしくお願ひいたします。

諏訪東京理科大学

学長 片岡 寛

『諏訪東京理科大学の地域貢献』に関する点検評価

委員長：信州大学 教授 遠藤 守信

諏訪東京理科大学は地域社会の大きな期待を集めて建学され、大学の理念に『地域社会との連携』が謳われている。開学5年を経て第一期の学生を輩出し、また大学院も2006年4月から発足し、大学としてその存在を確立する段階に入った。かかる時期にその地域貢献が所期の目標に沿って推進されているかについて点検することは重要である。すなわち特色ある大学として大きな発展を目指す新たな段階に入り、改めて表記について評価点検を実施することの意義は大きい。

ここでは今までの大学の地域連携に対する取り組みについて、(1) 県内学生の受け入れ状況、(2) 生涯学習への対応、(3) 大学施設の開放、(4) 産学公連携について点検した。その結果、これらの項目について十分高く評価される状況で地域貢献が推進されており、地域との連携を強化しながら共に発展を目指す新時代の大学として大いに期待されると判断された。

まず、(1) 学生の受け入れ状況については、8割が甲信越地域からであり地域との結びつきに独自性が有る。また長野県全県から広く入学しているが、北信地域からの入学者が更に増えてもいい状況にある。県内出身がおよそ8割で独特の地域性が發揮されておりその比率を強める傾向にある。長い間、地域に理系の私立大学の設立が望まれていたが、地元志向の強い学生、勉学意欲の旺盛な長野県学生の受け皿としてその特色が一層強化されてもいい。一方で他県からの応募もさらに増加するよう努め、競り合い中で本県学生が選考される環境作りも望まれる。また18歳人口および理系志望の学生数の減少の影響は少なからず出てきているが、理系指向の強い本県の社会性、さらに北信地域における学生開拓でかかる背景を打破できるものと期待される。就職率や進学状況など卒業学生の進路状況も良好であり、またカリキュラムはよく整備され豊かな個性が社会で評価されていく状況になった。有為な若者を輩出する地域の大学としてその存在感を一層強め、学生の応募や入学状況にも反映されるよう期待したい。

(2) 生涯学習への対応については、学内組織（生涯学習センター）が充実され、そこを拠点に活発な事業が展開され、質、量の両面で地域の生涯学習や継続教育に十分貢献しており高く評価できる。地域、県や地元自治体等、産官公と協力して進められており、学内組織が有効に機能している。今後、活動の対象エリアを県内より広く展開し、また信州大学との密接な連携も開拓いただくよう期待したい。

(3) 大学施設の開放および(4) 産学公連携については、地域の要望を十分に満たしたものとなっており、大学当局の積極的姿勢が反映されている。また大学教員の講演会、自治体委員等への派遣による地域連携も県内広く、かつ

積極的に展開されており、この項目においても社会貢献は高く評価できる。これについては地域社会からの賛辞や信頼の声も聞かれるところである。街の雰囲気にもアカデミズムが漂い始め、大学の存在が文化度の高い地域社会の構築に役立っている。大学と地域の新しい連携モデルとして、地元社会とより一層強固な連帯感を築き、街の発展にも機能していただきたい。

結論として教職員の協力のもと地域貢献が明確に果たされており、高く評価される。一方、教員の本来業務である教育、研究が弱体化しないよう地域貢献とのバランスある業務展開も重要な視点である。一方、地域からの要請も過度にならないような配慮も必要である。しかしこの2つの使命が相容れないものではなく、共に関係し合う重要な責務と認識いただき、教職員が協力し両分野でバランスのとれた実績を上げていただくよう期待したい。このように諏訪東京理科大学と地域社会との連携が良好に展開され、社会貢献が十分に果たされていると結論され、表記テーマについてこれまでの大学の取り組みを高く評価したい。そしてこれが大学自身の発展につながるよう、またかかる活動が地域社会から大学への積極的な支援となって、大学と地域の相互の発展に寄与することを望みたい。

諏訪理科大学地域貢献に関する評価

長野県教育委員会教育次長 平澤武司

1 はじめに

開校以来、諏訪東京理科大学は、「工学と経営学の融合教育」をコンセプトにし、地元の諏訪地域はもとより、長野県下各地の教育界、経済界、行政機関及び自治体や地域のコミュニティーとの連携を深めながら着実に歩んでいますことに長野県教育委員会を代表しまして敬意と感謝を申し上げます。特に、次の項目にかかわって評価いたします。

2 評価する項目

(1) 県内学生受け入れ

大学受験にも少子化の波が押し寄せている中で、諏訪東京理科大学も平成17年度318名であった入学生が平成18年度は前年度の85.6%の272名になっています。しかし、入学生的うちの長野県出身者が占める割合は、平成17年度は入学生全体の74.2%、平成18年度は73.2%であり、地元長野県からの受験者を大切にしていただいております。

今後、少子化が一層進むなかで、地域を担う若者は地元にどのくらい定住するかが地域の経済や文化や芸術の発展するための大きなポイントになると思います。諏訪東京理科大学の学生受け入れはそういった意味からも非常に意義深い、未来を見据えた卓越した取り組みであると思います。なお一層の県内学生の受入を積極的に取り組むことを期待します。

(2) 生涯学習への対応

大学がかかえる人的資源を県民はじめ広く外部で活躍できるように、生涯学習センターを中心に出前授業や公開講座を積極的に推進しています。平成17年度は36講座でしたが平成18年度は40講座に増えました。なかでも理科離れを指摘されている昨今、県下の小・中・高等学校、自治体や各種団体との連携は着実に進み、物事の真理と学ぶことの楽しさを多くの県民に広げることが重要と考えます。今後も積極的に実施されますことを期待します。

(3) 大学施設の開放

地域に開かれた大学をめざし大学が所有する施設や設備の開放は、平成17年度の316件から平成18年度には334件に増加しています。特に、図書館利用者が平成17年度の77件から18年度は102件に増え、地域住民の方々の情報活用センター的な役割を果たすようになってきています。引き続き、地域住民の皆さんとの積極的な交流を進めることを期待します。

(4) 産学公連携

大学と地域の産業会と市町村が連携し「諏訪東京理科大学地域コンソーシアム協議会」を立ちあげ、地元の諏訪地区をはじめ他大学や近隣の県とも連携を図りながら学術と技術の交流と発展に大きく寄与しています。今後益々実績を積み重ねますよう期待します。

3 おわりに

地域と共に歩む大学として、向学の気風に満ち、学府のリーダー的な役割を果たし、ますます地域にとってはかけがえのない存在となってきています。

大学経営にとって地域からの信頼が欠かせないものであり、その意味からも地域貢献を一層深め、今後とも、地域に開かれた大学づくりを一層おしそすめてくださるようご期待申し上げています。

諏訪東京理科大学の地域貢献に関する評価について

茅野市長 矢崎和広

諏訪東京理科大学が4年生に改組転換してから2年目の卒業生を送り出すことになりました。昨年に引き続き100%近い就職率と言うことで大変心強く思います。学生にとって、就職率が良いということは大きな魅力になります。このことを広くアピールすることが必要です。

県内学生の受け入れについて

当大学が公私共同方式で設立された目的として県内学生の受け入れ、また、県内企業への貢献があります。受け入れ数も設立以来70数%を維持しており、また、県内就職先もほぼ同数字になっています。まさに長野県に貢献する大学ということができます。一方、志願者数の減少傾向は気になるところです。他の県内私立大学も同様の傾向がありますが志願者増のための努力、工夫が必要になります。

生涯学習への対応・大学施設の開放について

生涯学習への対応、大学施設の開放については期待通りに進んでいることに感謝しております。学校図書館、グランド、体育館等の開放は現在茅野市民にとって必要不可欠なものになりつつあります。特に設置させていただいた茅野市情報プラザは茅野市の情報化にとって最も重要な拠点施設であり、本市が日経パソコンの情報化ランキングで全国市町村で第3位にランクされたことに情報プラザは大きく貢献をしています。

産学公連携について

産学公連携は事務局を茅野市から「NPO諏訪圏ものづくり推進機構」に移したことにより本市だけでなく諏訪圏域全体に広がりつつあります。今後も大きく期待するところです。

諏訪東京理科大学の地域貢献に関する評価について

岡谷南高等学校長 中島森利

長野県高等学校長会を代表して地域貢献に関する評価をさせていただきます。

まず、諏訪東京理科大学の地域に向けての開放の姿勢の根本についての感想から述べさせていただきます。「垣根の低さ」「敷居の低さ」ということを開学以来一貫して感じています。地元高等学校の校長として何度も大学とのやりとりをさせていただきましたが、窓口の事務局の皆さんの応対をはじめとして、教授の皆さんに至るまで、実に懇切丁寧かつ低姿勢での対応をしていただきました。とかく大学という所は“敷居が高い”という感覚が一般にはあるのですが、それが諏訪東京理科大学にはないということです。高等学校の学校評議員を二つ返事で教授に引き受けさせていただきましたし、高等学校教員との研究協議や高校生の授業への教員派遣にも積極的に取り組んでいただきました。こうした大学の在りようは地域貢献を考えるときに根本的な評価基準となるものと考えられます。その点で高く評価したいと思います。

そのことと関連してもう一つ私が評価している点があります。信濃毎日新聞の諏訪版紙面に定期的に連載されている「茅野の学窓から」というコラムであります。大学の現状や学問の現状、世の中の動きや今日的な課題等、様々な角度から地域への情報発信や啓発といった面で寄与していることは評価に値すると考えています。地域に溶け込み地域に馴染むという面での有効性もさることながら、広く地域一般に諏訪東京理科大学の内容が公開されているという気がします。こうした活動の延長線上に将来的には市民講座的なものをこれまで以上に数多く開催していただければ有難いと考えます。

高等学校をはじめ、小・中・高への出前授業には大変多くの時間と労力を傾注していただいており感謝に耐えません。子供たちの知的好奇心を喚起し進路意識を高揚させる面での有効性は高く、地元大学としての貢献度は高いものがあります。高等学校の高大連携事業（S S H事業やS P P事業等）の取組における諏訪東京理科大学の存在は不可欠であり、その面での貢献も高く評価できます。

県内の公私立高校からの入学者が7割を超えるということあります。今後はその学生諸君が地域とのかかわりを更に増やしての活動に取り組むことを推奨したいと思います。今後とも地域に根ざす大学として地域の知的並びに文化的活動拠点としての諏訪東京理科大学の発展を念願してやみません。

諏訪東京理科大学の地域貢献に関する評価について

野村ユニソン株式会社 代表取締役 野村 稔

このたび、地域貢献評価委員会委員の依頼を受けて、事業経営者及び長野県経営者協会の役員としての立場から、諏訪東京理科大学の設置理念の中の、主に以下の観点で評価を行った。

- ・発展する科学技術への対応
- ・地元企業の技術力・経営力への貢献
- ・自ら将来を開拓できる人材育成

これらのキーワードとして、当社の企業理念や経営者協会のも活動方針にも掲げられている「産学公の連携」、「人材育成」、そして企業運営には欠かせない「技術力・経営力」をあげた。

産学公の連携については、地域コンソーシアム推進協議会や関連機関などを通じて、産学公連携事業が実施されている。産学公の連携では、技術開発に関する技術交流や関連分野など発展する科学技術に対応すべく、その役割を着実に進めていることを事業実績から確認ができた。

産学公の連携の今後の展開については、科学技術及び開発は最先端技術として常に進化するものであり、これからも更に先取りしたテーマや分野を取り上げて進めて頂くことと、更に連携の強化をして頂くよう期待する。

技術力・経営力については、平成18年度に「技術経営塾」を5回開催するなど、その他産業技術交流会、産業技術大学経営管理コースなども併せ、幅広く関係機関との連携をとり、地域企業なども含めた開催を進めていることを確認できた。

人材育成については、経営力は人間力といわれ、技術力とあわせ三位一体のものであると考える。地域企業へ貢献できる人材育成として、前出の産学公の連携、技術力・経営力の部分でとりあげた内容や、他の事業も含め、「経営がわかる技術者」「技術がわかる経営管理者」の礎となる事業を進めていると受け取り、このことは地域企業のみならず、地域外企業にも通じる人材育成が行われていると思う。

以上、諏訪東京理科大学地域評価委員としての評価を申し述べた。

諏訪東京理科大学は、平成14年度に短期大学から4年生大学として転換し、平成18年度は卒業生を送り出した初年度であり、彼等の活躍や成果が期待されるところである。4年1サイクルのカリキュラムを終了し巣立った卒業生の、活躍状況や受け入れ先での評価などを大学側として実態を把握し、フォローをしておくことも必要かと思う。

諏訪東京理科大学が更なる高度化を図るように進めており、その結果、地域も含め内外からも存在価値を求められるよう、更に発展されることを期待する。

諏訪東京理科大学の地域貢献に関する評価について

長野大学 教授 安井 幸次

平成 17・18 年度の諏訪東京理科大学の地域貢献に関わる資料を拝読いたしました。「工学と経営学の融合教育」という特色を活かしつつ、「地域の生涯学習と地元企業の技術力・経営力の向上に貢献する」との基本理念を具体化して、多面的な実践をされておられるごとに敬意を表します。私が所属する長野大学でも、平成 5 年度から「生涯学習センター」を開設し、地域住民の学びの場を提供してきましたが、平成 18 年度に地域連携と高大連携の 2 つの柱を加えて、「地域連携センター」に再編しました。今回、諏訪東京理科大学の地域貢献の実践についての資料を拝読し、本学のセンターの今後の運営について参考にすべきいくつかの点を学ぶことができたことを感謝いたします。以下、資料のみでは読み取れないこともあります、いくつかの点についてコメントいたします。

- ①生涯学習センター事業では、高校生や住民等を対象とした「出前授業」に力を入れていることが特徴となっています。一方、学内施設を地域住民の学びの場である「茅野市情報プラザ」として開放されていますが、これは自治体と大学との連携の 1 つとして特筆すべきものであると思われます。この「プラザ」は、公民館的な活動を行っていると推測されますが、これとの大学としての企画や運営面での関係が不明でした。小学生の親子を対象とした「サイエンス夢合宿」のような学内でのユニークな講座も開設されています、「出前講座」と合わせて、大学の施設を活用した活動の展開がさらに望まれます。また、両年度の講座担当の教員は、専任教員全体の 30~40%程度となっていますが、大学の多様な人材活用の視点から、検討すべき課題であるように思えます。
- ②産学公の連携による「地域コンソーシアム協議会」の活動も、諏訪東京理科大学の地域貢献を特色づける取り組みであると評価できます。工学と経営学の両面での成果が期待されます。
- ③これも資料を見渡す限りでは、学生の地域貢献には課題があるよう思われました。学生の地域活動への参加のみならず、地域を教育・研究のフィールドとして位置づけた取り組みを強めていくことが望まれます。
- ④「地域の匠のアドバイスを受けながら、学生が自ら考え、創造する場所」として新設された「ものづくり工房」の今後の活動が特に注目に値します。「2007 年問題」に象徴されるように、現在、ものづくり技術の継承が重要な課題となっていますが、地域の「匠の技」を大学で活用し、学生がそれを学んでいく試みは、現代的な課題に沿うものであり、その成果が期待されます。
- ⑤最後に、今回の外部評価の機会を得て痛感したことは、県内の大学がそれぞれの個性を活かして取り組んでいる地域貢献活動について交流し、意見交換をしながら互いの活動を高めていくことの必要性です。そのような場が創られることが望れます。

諏訪東京理科大学の地域貢献に関する評価について

諏訪地区 P T A 連合会 会長 小林 俊朗

豊かな自然にふれあい、恵まれた環境のもと地域に根ざした大学として日々前向きで、積極的に取り組まれている姿に敬意を表します。

4年制大学として平成17年度に初めての卒業生を送り出し、その就職率98.1%、進学率に於いては100%。また、平成18年度卒業予定者の就職内定率96.4%、進学内定率100%と大変素晴らしい実績を上げられ、学長はじめ教職員皆様の指導の成果が伺われます。

このような先生方の指導のもと勉学に励む学生は大変恵まれていると実感し、感謝するしだいです。

出前授業においては、講義系講座12講座・体験系講座4講座と充実しています、また、サイエンス夢合宿の取組も大変好評で、リピーターが出るまでになってきたことは高く評価いたします。ただ、これらの取組の結果どのような効果がもたらされたのかが重要だと思われます。そこで得られた教訓と提言を今後の事業の改善に反映させていくことを期待いたします。

キャンパス内の施設を地域に開放し年度を増す毎に利用率も上がっていることは大いに実績を評価します。そのなかで、検定試験への会場提供や生涯学習について古い歴史を持つ職業訓練校やP T A、地域有識者などの連携をはかるなど、今後さらなる発展を期待いたします。

諏訪圏の入学者市町村別状況を見ますと、地元茅野市を100%とすると、諏訪市72%、岡谷市59.9%、下諏訪町・富士見町ともに21.4%と、距離を増すごとに入学者数が下がっています。地域の方々の支持と理解を得て、さらに効果的で効率的に実施できますよう期待いたします。

以上

誠訪東京理科大学地域貢献評価委員会資料

1. 説明資料

- 資料 1 誠訪東京理科大学地域貢献評価委員会規程
- 資料 2 誠訪東京理科大学地域貢献評価委員会委員名簿
- 資料 3 誠訪東京理科大学の概要
- 資料 4 誠訪東京理科大学運営組織図
- 資料 5 誠訪東京理科大学の教育職員数と事務職員数
- 資料 6 誠訪東京理科大学の入試・在学生・卒業生状況
- 資料 7 誠訪東京理科大学生生涯学習センター規程
- 資料 8 誠訪東京理科大学生生涯学習センター運営委員会委員名簿
- 資料 9 誠訪東京理科大学生生涯学習施設
- 資料 10 誠訪東京理科大学生生涯学習センター事業実績
- 資料 11 誠訪東京理科大学地域交流状況
- 資料 12 各種委員会・審議会等への派遣教員名簿
- 資料 13 誠訪東京理科大学研究交流委員会規程
- 資料 14 誠訪東京理科大学研究交流委員会委員名簿
- 資料 15 誠訪東京理科大学地域コンソーシアム推進協議会会則
- 資料 16 誠訪東京理科大学共同研究施設
- 資料 17 誠訪東京理科大学产学公研究交流事業実績

2. 参考資料

- 1 誠訪東京理科大学大学案内 2007 (省略)
- 2 誠訪東京理科大学大学院案内(省略)
- 3 誠訪東京理科大学「ものづくり工房」パンフレット(省略)
- 4 RIDAI SCITEC (省略)
- 5 「出前授業」講座一覧 (2005, 2006)
- 6 誠訪東京理科大学フォーラム・ゼミナール 2005
- 7 技術経営塾 2006
- 8 誠訪東京理科大学イノベーションシンポジウム

配付資料

諏訪東京理科大学地域貢献評価委員会規程

(目的及び設置)

第1条 諏訪東京理科大学（以下「本学」という。）の設置理念の1つとしてかけている地域社会への貢献について外部機関による評価を行うため、学校法人東京理科大学業務規程（平成13年度規程第6号）第35条の規定に基づき、本学に、諏訪東京理科大学地域貢献評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(評価事項)

第2条 前条に規定する目的を達成するための評価事項は次に掲げるとおりとする。

- (1) 本学の設置理念及び研究教育上の目的を達するために必要な事項
- (2) 本学の運営に関する事項
- (3) その他本学が特に必要と認める事項に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織し、委員は本学の学長（以下「学長」という。）が委嘱する。

- (1) 長野県知事の指名する者 1人
- (2) 茅野市長の指名する者 1人
- (3) 長野県内の高等学校長 1人
- (4) 長野県内の企業の経営者 1人
- (5) 学識経験者 若干人
- (6) 諏訪圏域の住民 1人

2 委員会に委員長（以下「委員長」という。）を置き、委員長は委員の互選によって定める。

3 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故のあるときは、委員長があらかじめ指名した委員が、その職務を代理する。

4 委員長が必要と認めたときは、委員会の同意を得て委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営)

第5条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員会が定める。

(学長への報告)

第6条 委員会において審議した重要事項は、学長に文書で報告するものとする。

(結果の公表)

第7条 学長は、委員会から報告書が提出されたときは、必要に応じて意見を附した上で、原則としてこれを公表するものとする。

(事務処理)

第8条 委員会の事務は、諏訪東京理科大学事務部庶務課において処理する。

附則

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

諏訪東京理科大学地域貢献評価委員会委員名簿

職 名	氏 名	備 考
長野県教育委員会教育次長	平澤 武司	第3条第1項第1号による委員
茅野市長	矢崎 和広	第3条第1項第2号による委員
長野県岡谷南高等学校長	中島 森利	第3条第1項第3号による委員
野村ユニソン㈱代表取締役	野村 稔	第3条第1項第4号による委員
信州大学工学部教授	遠藤 守信	第3条第1項第5号による委員
長野大学産業社会学部教授	安井 幸次	第3条第1項第5号による委員
諏訪地区P.T.A連合会長	小林 俊朗	第3条第1項第6号による委員

諏訪東京理科大学の概要

1. 設置

諏訪東京理科大学は学校法人東京理科大学が、長野県及び諏訪地域の6市町村、地元産業界からの要請と協力を得て設置した大学

2. 建学の精神

理学の普及をもって国運発展の基礎となす

3. 設置理念

- ① 急速に発展する科学技術に対応し、自ら将来を開拓できる実力のある人材の育成
- ② 地域の生涯学習と地元企業の技術力・経営力の向上に貢献

4. 学部・学科・入学定員・総定員

学 部	学 科	入学定員	総定員
システム工学部	電子システム工学科	100	400
	機械システムデザイン工学科	100	400
経営情報学部	経営情報学科	100	400
工学・マネジメント研究科	工学・マネジメント専攻	15	30
計		315	1,230

5. 教育の特色

- ① 工学と経営学の融合教育
- ② 情報リテラシーと環境マインドを身につけさせる教育の実施
- ③ 専門基礎教育の徹底
- ④ 意欲や社会的能力の養成
- ⑤ 教育研究の高度化
- ⑥ 東京理科大学との密接な連携

6. 地域との連携

- ① 小・中・高等学校への出前授業の充実（生涯学習センター）
- ② 公開講座の開催・社会人対象の出前授業（生涯学習センター）
- ③ 産学公連携の推進（研究交流委員会、東京理科大学科学技術交流センター・諏訪センター）
- ④ 大学施設の開放

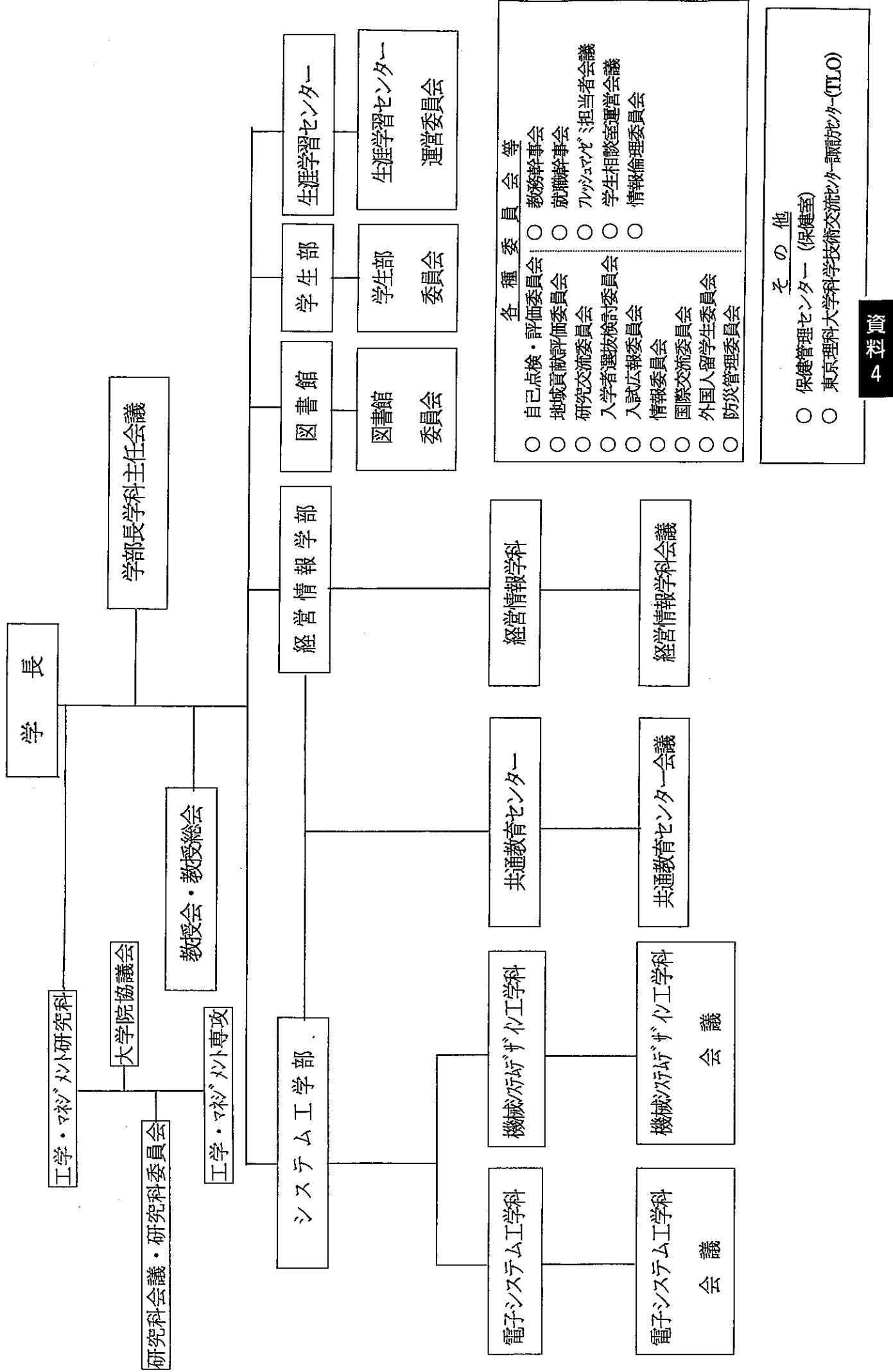
7. 校地面積 (H18.5.1 現在)

既存校地面積	73,007 m ²
新規校地面積	23,990 m ²
校地総面積	96,997 m ²

8. 校舎面積 (H18.5.1 現在)

既存校舎 (1・2・3号館、体育館、客員宿舎など)	9,651.22 m ²
新設校舎 (4・5・6・7・8号館、セミナーハウス、クラブハウスなど)	17,318.82 m ²
校舎総面積	26,070.04 m ²

東京理科大學運算組組織圖



誠訪東京理科大学の教育職員数と事務職員数

1. 専任教員数

[平成14年度]

(単位：人)

学部	専任教員				
	教 授	助教授	講 師	助 手	計
システム工学部	7	1	5	2	15
経営情報学部	5	1	5	1	12
共通教育センター	7	3	3	1	14
計	19	5	13	4	41

(注) 1. 学校基本調査票より集計（5月1日現在）

2. 専任教員に学長は含まれない

[平成15年度]

(単位：人)

学部	専任教員				
	教 授	助教授	講 師	助 手	計
システム工学部	11	1	5	1	18
経営情報学部	5	1	6	2	14
共通教育センター	6	3	4	1	14
計	22	5	15	4	46

(注) 1. 学校基本調査票より集計（5月1日現在）

2. 専任教員に学長は含まれない

[平成16年度]

(単位：人)

学部	専任教員				
	教 授	助教授	講 師	助 手	計
システム工学部	11	2	6	1	20
経営情報学部	7	1	6	1	15
共通教育センター	7	3	4	1	15
計	25	6	16	3	50

(注) 1. 学校基本調査票より集計（5月1日現在）

2. 専任教員に学長は含まれない

[平成17年度]

(単位：人)

学部	専任教員				
	教 授	助教授	講 師	助 手	計
システム工学部	11	2	6	1	20
経営情報学部	9	1	7	2	19
共通教育センター	7	3	4	1	15
計	27	6	17	4	54

(注) 1. 学校基本調査票より集計（5月1日現在）

2. 専任教員に学長は含まれない

[平成18年度]

(単位：人)

学部	専任教員				
	教 授	助教授	講 師	助 手	計
システム工学部	12	6	5	3	26
経営情報学部	6	7	3	2	18
共通教育センター	4	3	3	1	11
計	22	16	11	6	55

(注) 1. 学校基本調査票より集計(5月1日現在)

2. 専任教員に学長は含まれない

2. 専任事務職員数

年 度 部 門	平成14年度	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
事務部長	1	1	1	1	1
庶務課	6	6	6	5	6
学務課	6	6	7	7	7
就職課	—	—	2	4	3
図書館	1	1	1	1	1
(情報技術課)	2	2	2	2	2
(保健管理センター)	1	1	1	1	1
計	17	17	20	21	21

(5月1日現在)

諏訪東京理科大学入試・在学生状況

1. 入試状況

(単位:人)

学部・学科		年度	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	
システム工学部	電子システム工学科	志願者	217	239	216	198	141	
		合格者	172	174	166	167	131	
		入学者	130	114	119	97	73	
	機械システムデザイン工学科	志願者	211	252	176	211	158	
		合格者	164	191	150	171	156	
		入学者	131	130	111	97	83	
経営情報学部	経営情報学科	志願者	259	225	216	249	178	
		合格者	163	152	153	198	175	
		入学者	146	116	122	124	116	
合 計		志願者	687	716	608	658	477	
		合格者	499	517	469	521	462	
		入学者	407	360	352	318	272	

(注) 入学者数は、学校基本調査票より集計(5月1日現在)

2. 在学生 [平成18年度]

(単位:人)

学年	システム工学部		経営情報学部	合計
	電子システム工学科	機械システムデザイン工学科		
1年生	73(1)	83(3)	116(21)	272(25)
2年生	93(6)	92(3)	121(19)	306(28)
3年生	102(5)	100(1)	105(21)	307(27)
4年生	109(3)	135(3)	126(26)	370(32)
合 計	377(15)	410(10)	468(87)	1255(112)

(注) 1. 学校基本調査票より集計(5月1日現在)。

2. () は女子内数を示す。

3. 志願者数と入学者の地域別分布状況

(単位:人)

年 度 地 域	平成14				平成15				平成16				平成17				
	志願 者数 (%)	率 (%)	入學 者数 (%)	率 (%)													
北海道	4	0.6	1	0.2	3	0.4	0	0	3	0.5	1	0.3	3	0.5	1	0.3	5
東 北	13	1.9	4	1	9	1.3	3	0.8	8	1.3	2	0.6	11	1.7	1	0.3	9
北関東	27	3.9	10	2.5	30	4.2	8	2.2	25	4.1	11	3.1	41	6.2	10	3.1	32
南関東	78	11.4	36	8.9	84	11.8	33	9.2	65	10.7	25	7.1	72	10.9	12	3.8	31
東 京	61	8.9	18	4.4	39	5.4	16	4.4	29	4.8	9	2.5	41	6.2	13	4.1	28
甲信越	426	62	308	75.7	477	66.6	283	78.6	418	68.7	290	82.3	400	60.8	249	78.3	323
(380)	(55.3)	(280)	(68.8)	(429)	(59.9)	(256)	(71.1)	(378)	(62.2)	(269)	(76.4)	(351)	(53.3)	(236)	(74.2)	(278)	(67.7)
北 陸	3	0.4	0	0	6	0.8	0	0	4	0.7	1	0.3	5	0.8	2	0.6	7
東 海	40	5.8	18	4.4	41	5.7	14	3.9	28	4.6	7	2	38	5.8	11	3.5	21
近畿	8	1.2	4	1	10	1.4	1	0.3	9	1.5	2	0.6	12	1.8	4	1.3	7
中 国	3	0.4	2	0.5	0	0	0	0	2	0.3	0	0	2	0.3	0	0.0	1
四 国	1	0.1	1	0.2	2	0.3	0	0	1	0.2	0	0	2	0.3	2	0.6	1
九州・沖縄	6	0.9	1	0.2	1	0.1	0	0	3	0.5	2	0.6	5	0.8	3	0.9	6
そ の 他	17	2.5	4	1	14	2	2	0.6	13	2.1	2	0.6	26	4.0	10	3.1	6
合 計	687	100	407	100	716	100	360	100	608	100	352	100	658	100	318	100	477

(注)1. 入学者数は出身高校の所在地県別数で、学校基本調査票より集計(5月1日現在)。

志願者についても学校基本調査票に準じて集計。
2. 甲信越地方下段の()内は長野県内数。

2. 甲信越地方下段の()内は長野県内数。

4. 県内出身入学者の市町村別状況(年度別)

市町村名	合計人数	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
長野市	163	33	47	32	32	19
松本市	133	40	31	22	21	19
茅野市	107	19	16	20	27	25
諏訪市	68	10	14	18	16	10
岡谷市	56	13	10	13	10	10
上田市	53	9	8	11	13	12
塩尻市	52	7	8	13	14	10
伊那市	46	14	7	7	7	11
飯田市	30	9	8	4	4	5
須坂市	30	9	6	4	6	5
千曲市	27	6	7	3	6	5
佐久市	23	2	3	7	6	5
小諸市	22	2	7	4	5	4
諏訪郡富士見町	21	7	7	4	3	0
上伊那郡箕輪町	20	3	5	7	2	3
諏訪郡下諏訪町	20	7	2	4	6	1
東御市	19	7	1	7	3	1
上伊那郡辰野町	16	4	5	3	2	2
埴科郡坂城町	16	4	2	4	3	3
駒ヶ根市	14	3	5	4	2	0
中野市	13	2	3	4	1	3
小県郡丸子町	13	5	1	2	5	0
上高井郡小布施町	13	3	1	2	3	4
安曇野市	13	0	0	0	1	12
南安曇郡豊科町	12	4	0	5	3	0
北佐久郡立科町	11	5	3	2	1	0
南安曇郡三郷村	11	2	3	3	3	0
南安曇郡穂高町	10	5	0	1	4	0
諏訪郡原村	9	2	2	2	0	3
大町市	9	1	1	3	2	2
上伊那郡南箕輪村	9	1	2	1	2	3
東筑摩郡明科町	7	0	1	5	1	0
飯山市	7	2	2	2	0	1
北佐久郡望月町	7	3	0	3	1	0
北佐久郡御代田町	7	1	1	1	3	1
下高井郡山ノ内町	7	0	2	0	0	5
上伊那郡高遠町	6	1	1	2	2	0
上水内郡豊野町	5	1	0	4	0	0
東筑摩郡波田町	5	2	1	2	0	0
南安曇郡梓川村	5	2	2	1	0	0
上高井郡高山村	5	1	1	2	1	0
南安曇郡堀金村	5	2	1	1	1	0
下高井郡木島平村	5	2	0	1	0	2
北安曇郡松川村	5	3	0	0	1	1
北安曇郡白馬村	5	1	1	1	1	1
北佐久郡軽井沢町	5	1	1	1	0	2
小県郡真田町	4	2	1	1	0	0
上水内郡信濃町	4	2	1	1	0	0
東筑摩郡山形村	4	1	1	1	1	0
南佐久郡白田町	4	3	0	0	1	0
南佐久郡南牧村	4	1	1	1	1	0
下伊那郡阿智村	4	0	0	2	1	1
上水内郡信州新町	4	1	0	1	1	1
北安曇郡池田町	4	1	1	0	1	1
下伊那郡高森町	4	0	1	0	0	3
東筑摩郡朝日村	4	0	0	1	1	2

市町村名	合計人数	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
下伊那郡松川町	3	1	2	0	0	0
南佐久郡佐久町	3	1	0	2	0	0
北佐久郡浅科村	3	1	1	1	0	0
下伊那郡阿南町	3	1	0	1	0	1
下高井郡野沢温泉村	3	0	1	0	0	2
小県郡長和町	3	0	0	0	1	2
上伊那郡中川村	2	0	0	2	0	0
更級郡上山田町	2	0	2	0	0	0
小県郡青木村	2	0	1	1	0	0
小県郡武石村	2	0	2	0	0	0
上伊那郡官田村	2	0	1	1	0	0
上伊那郡飯島町	2	1	1	0	0	0
東筑摩郡四賀村	2	1	0	1	0	0
南安曇郡奈川村	2	0	0	2	0	0
南安曇郡安曇村	2	0	1	1	0	0
木曾郡三岳村	2	1	1	0	0	0
木曾郡上松町	2	0	2	0	0	0
上伊那郡長谷村	2	1	0	0	1	0
上水内郡中条村	2	0	0	1	0	1
東筑摩郡麻績村	2	0	0	1	0	1
南佐久郡小海町	2	0	0	1	1	0
上水内郡飯綱町	2	0	0	0	0	2
木曾郡木曾町	2	0	0	0	0	2
下水内郡豊田村	1	0	0	1	0	0
下伊那郡喬木村	1	0	1	0	0	0
下伊那郡南信濃村	1	1	0	0	0	0
下伊那郡豊丘村	1	0	1	0	0	0
小県郡和田村	1	0	0	1	0	0
小県郡長門町	1	0	1	0	0	0
上水内郡三水村	1	0	0	1	0	0
上水内郡小川村	1	0	1	0	0	0
上水内郡豊野	1	0	1	0	0	0
上水内郡牟礼村	1	1	0	0	0	0
南佐久郡川上村	1	0	1	0	0	0
南佐久郡八千穂村	1	1	0	0	0	0
北安曇郡小谷村	1	0	1	0	0	0
木曾郡王滝村	1	0	0	1	0	0
下伊那郡天竜村	1	0	0	0	0	1
下伊那郡平谷村	1	0	0	0	1	0
東筑摩郡筑北村	1	0	0	0	0	1
南佐久郡佐久穂町	1	0	0	0	1	0
木曾郡南木曾町	1	0	0	0	1	0
木曾郡木曾福島町	1	0	0	0	1	0
上水内郡	1	0	0	0	0	1
南佐久郡	1	0	0	0	0	1
木曾郡櫛川村	1	1	0	0	0	0
合計	1260	283	257	269	238	213

5.進路決定及び内定状況

[平成17年度卒業生] (平成18年5月1日現在)

単位:人、()は女子内数

	電子システム工学科	機械システムデザイン工学科	経営情報学科	合 計
卒 業 者	81 (4)	89 (8)	99 (27)	269 (39)
就職希望者	64 (3)	63 (4)	87 (27)	214 (34)
就職決定者	64 (3)	63 (4)	83 (25)	210 (32)
就職決定率	100.0%	100.0%	95.4%	98.1%
進学希望者	15 0	24 (3)	5 0	44 (3)
進学決定者	15 0	24 (3)	5 0	44 (3)
進学決定率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
その他希望者	2 (1)	2 (1)	7 0	11 (2)
その他決定者	2 (1)	2 (1)	7 0	11 (2)
進路未確認	0 0	0 0	0 0	0 0
進路決定率	100.0%	100.0%	96.0%	98.5%
卒見不可者	27 0	22 0	25 (1)	74 (1)

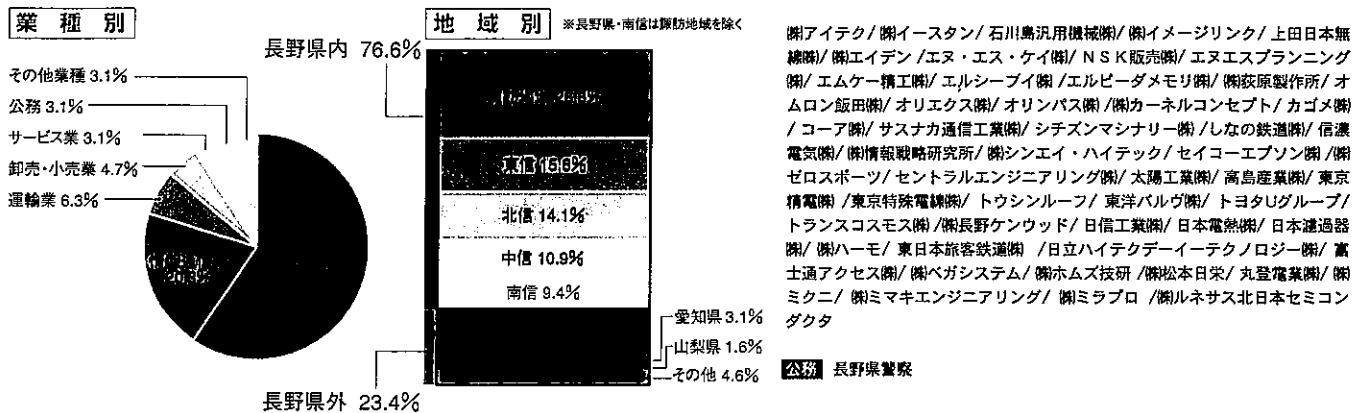
※その他希望者は家業、大学院以外の学校希望等。

※進学内定者には本学大学院進学予定者を含む。

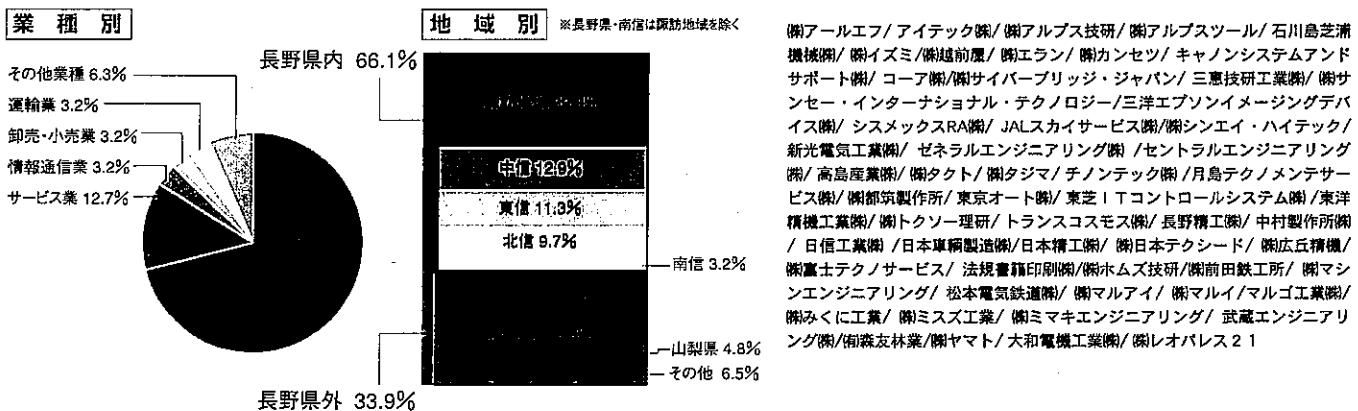
※フリーター等卒業後就職する意志がないと確認できた者については、「その他内定」として処理する。

卒業生の就職状況 (2006年3月卒業生)

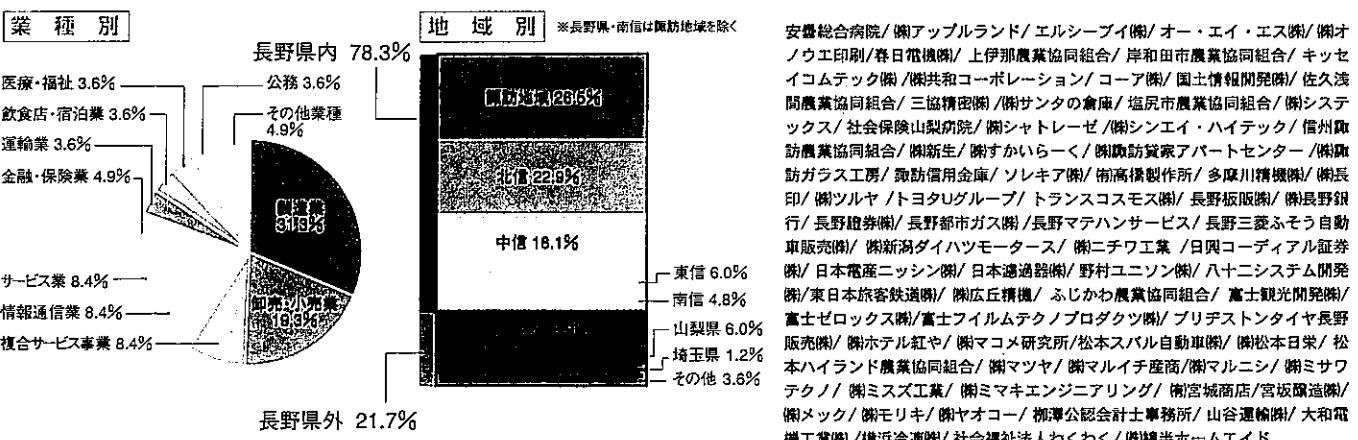
電子システム工学科



機械システムデザイン工学科



経営情報学科



株アイテク/㈱イースタン/石川島汎用機械㈱/㈱イメージリンク/上田日本無線㈱/㈱エイデン/エヌ・エス・ケイ㈱/N S K販売㈱/エヌエスプランニング㈱/エムケー精工㈱/エルシーピーリ㈱/エルビーダメモリ㈱/㈱荻原製作所/オムロン飯田㈱/オリエクス㈱/オリバンス㈱/㈱カーネルコンセプト/カゴメ㈱/コーア㈱/サスナカ通信工業㈱/シチズンマシナリー㈱/しなの鉄道㈱/信濃電気㈱/㈱情報戦略研究所/㈱シンエイ・ハイテック/セイコーワンソング㈱/㈱ゼロスポーツ/セントラルエンジニアリング㈱/太陽工業㈱/高島産業㈱/東京精電㈱/東京特殊電線㈱/トウシルーフ/東洋パルヴ㈱/トヨタグループ/トランスクスモス㈱/㈱長野ケンウッド/日信工業㈱/日本電熱㈱/日本遮光器㈱/㈱ハーモ/東日本旅客鉄道㈱/日立ハイテクデバイテクノロジー㈱/富士通アクセス㈱/㈱ベガシステム/㈱ホムズ技研/㈱松本日栄/丸登電業㈱/㈱ミクニ/㈱ミマキエンジニアリング/㈱ミラプロ/㈱ルネサス北日本セミコンダクタ

㈱アルエフ/アイティック㈱/㈱アルブス技研/㈱アルブスツール/石川島芝浦機械㈱/㈱イズミ/㈱越前屋/㈱エラン/㈱カンセツ/キャノンシステムアンドサポート㈱/コーア㈱/㈱サイバーブリッジ・ジャパン/三恵技研工業㈱/㈱サンセー・インターナショナル・テクノロジー/三洋エプソンイメージングデバイス㈱/シスメックスRA㈱/JALスカイサークル/㈱シンエイ・ハイテック/新光電気工業㈱/ゼネラルエンジニアリング㈱/セントラルエンジニアリング㈱/高島産業㈱/㈱タクト/㈱タジマ/チノテック㈱/月島テクノメンテサービス㈱/㈱都筑製作所/東京オート㈱/東芝/Ｔコントロールシステム㈱/東洋精機工業㈱/㈱トクソ理研/トランスクスモス㈱/長野精工㈱/中村製作所㈱/日信工業㈱/日本車輌製造㈱/日本精工㈱/㈱日本テクシード/㈱広丘精機/㈱富士テクノサービス/法規書籍印刷㈱/㈱ホムズ技研/㈱前田鉄工所/㈱マシンエンジニアリング/松本電気鉄道㈱/㈱マルアイ/㈱マルイ/マルゴ工業㈱/㈱みくに工業/㈱ミスズ工業/㈱ミマキエンジニアリング/武藏エンジニアリング㈱/㈱森友林業/㈱ヤマト/大和電機工業㈱/㈱レオパレス21

安曇総合病院/㈱アップルランド/エルシーピーリ/オー・エイ・エス㈱/㈱オノウエ印刷/春日電機㈱/上伊那農業協同組合/岸和田市農業協同組合/キッセイコムテック㈱/㈱共和コーポレーション/コーア㈱/國土情報開発㈱/佐久浅間農業協同組合/三協精密㈱/㈱サンタの倉庫/塩尻市農業協同組合/㈱システムズ/社会保険山梨病院/㈱シャトレーゼ/㈱シンエイ・ハイテック/信州鉄道農業協同組合/㈱新生/㈱すかいらーく/㈱諒防資源アパートセンター/㈱諒防ガラス工房/諒防信用金庫/ソレキア㈱/㈲高橋製作所/多摩川精機㈱/㈱長印/㈱ツルヤ/トヨタリゲループ/トランスクスモス㈱/長野板版㈱/㈱長野銀行/長野證券㈱/長野都市ガス㈱/長野マテハンサービス/長野三菱ふそう自動車販売㈱/㈱新潟ダイハツモータース/㈱ニチワ工業/日興コーディアル証券㈱/日本電産ニッシン㈱/日本遮光器㈱/野村ユニゾン㈱/八十二システム開発㈱/東日本旅客鉄道㈱/㈱広丘精機/ふじかわ農業協同組合/富士觀光開発㈱/富士ゼロックス㈱/富士フィルムテクノプロダクツ㈱/プリテストンタイヤ長野販売㈱/㈱ホテル紅や/㈱マコメ研究所/松本スバル自動車㈱/㈱松本日栄/松本ハイランド農業協同組合/㈱マツヤ/㈱マルイチ産商/㈱マルニシ/㈱ミサワテクノ/㈱ミスズ工業/㈱ミマキエンジニアリング/㈱宮城商店/宮坂醸造㈱/㈱メック/㈱モリキ/㈱ヤオコー/柳原公認会計士事務所/山谷運輸㈱/大和電機工業㈱/横浜冷凍㈱/社会福祉法人わくわく/㈱綿半ホームエイド

[平成18年度卒業予定者] (平成19年2月23日現在)

単位:人、()は女子内数

	電子システム工学科	機械システムデザイン工学科	経営情報学科	合計
卒業予定者	86 (3)	105 (3)	100 (23)	291 (29)
就職希望者	76 (2)	80 (1)	95 (23)	251 (26)
就職内定者	75 (2)	77 (1)	90 (22)	242 (25)
就職内定率	98.7%	96.3%	94.7%	96.4%
前年度内定率 (H18.2.15)	100.0%	96.8%	94.3%	96.7%
進学希望者	7 0	24 (2)	0 0	31 (2)
進学内定者	7 0	24 (2)	0 0	31 (2)
進学内定率	100.0%	100.0%		100.0%
前年度内定率 (H18.2.15)	100.0%	87.0%	85.7%	91.1%
その他希望者	3 (1)	1 0	5 0	9 (1)
その他内定者	2 (1)	1 0	5 0	8 (1)
進路未確認	0 0	0 0	0 0	0 0
進路内定率	97.7%	97.1%	95.0%	96.6%
前年度内定率 (H18.2.15)	100.0%	94.4%	93.0%	95.6%
卒見不可者	21 0	27 0	22 (1)	70 (1)

※進学内定者は大学院進学予定者。

※その他希望者は就職または大学院以外の進路希望。

※その他内定者には就職する意志がないと確認できた者を含む。

諏訪東京理科大学生涯学習センター規程

(趣旨)

第1条 この規程は、諏訪東京理科大学学則（平成14年学則第14号）第61条第2項の規定に基づき、諏訪東京理科大学生涯学習センター（以下「センター」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、諏訪東京理科大学（以下「本学」という。）の研究成果及び教育機能を活用し、広く学内外に生涯学習機会を提供し、キャリア開発及び多様な学習意欲にこたえる活動を通して、地域社会に貢献することを目的とする。

(活動)

第3条 センターは、前条に規定する目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。

- (1) 地域の社会人等、特に企業人を対象にした公開講座、講習会及び講演会の開催
- (2) 小学生、中学生、高校生等に対する科学啓蒙活動推進のための事業の実施
- (3) 本学の学生を対象にした資格取得講座等の開催
- (4) その他センターの目的達成に必要な活動

(組織)

第4条 センターにセンター長を置き、センターは、センター所員及び事務職員をもって組織する。

(センター長及びセンター所員)

第5条 センター長は、センターの業務を統括する。

2 センター長は、本学の教授のうちから本学の学長（以下「学長」という。）が選出し、理事長に申し出る。

3 センター所員は、本学の教授、助教授、講師のうちから充てる。

(選任)

第6条 センター長及びセンター所員は、学長の申出に基づいて、理事長が委嘱する。

(任期)

第7条 センター長及びセンター所員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠による後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営委員会)

第8条 センターの運営に関する事項を審議するため、センターに運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) センター所員のうちから若干人
- (3) 本学の専任の教授、助教授、講師のうちから学長が指名する者
- (4) 諏訪東京理科大学事務部長

3 委員長は、センター長とする。

4 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故のあるときは、委員長のあらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

5 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

(細則)

第9条 この規程の施行に関し必要な細則は、委員会の議を経てセンター長が定める。

(事務処理)

第10条 センターに関する事務は、諫訪東京理科大学事務部庶務課において処理する。

附 則

1 この規程は、平成14年4月1日から施行する。

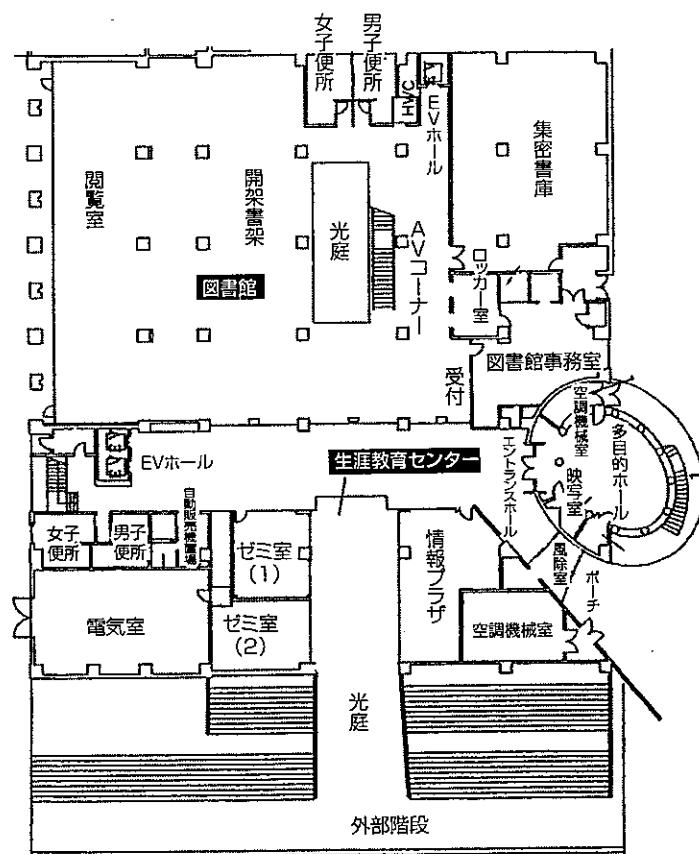
2 第7条の規定にかかわらず、当初のセンター長及びセンター所員の任期は、平成15年9月30日までとする。

誠訪東京理科大学生涯学習センター運営委員会委員名簿

所 属		職 名	氏 名
共通教育センター		教 授	※木村 正弘
		教 授	藤瀬 恭子
システム工学部	電子システム工学科	講 師	清水 俊治
	機械システムデザイン工学科	助教授	宮川 宣明
経営情報学部	経営情報学科	助教授	飯田 洋市
事 務 部		事務部長	管 嘉 典

※生涯学習センター長

東京理科大学生涯学習施設



面積: 2,286.91m²

施設:

施設名	施設内容		開館時間
図書館	蔵書数 (平成18年5月1日現在)	和書 50,075 冊	平 日 9:00~20:00 土曜日 9:00~18:00
		洋書 4,325 冊	
		視聴覚資料 1,042 点	
		和雑誌 97 種	
		洋雑誌 66 種	
	蔵書検索用パソコン	5台	
	その他機材	ビデオ、CD、DVDデッキ 各4台	
	閲覧座席数	167席	
	個人閲覧室	9室 情報コンセント8	
	グループ閲覧室	2室 情報コンセント16	
ゼミ室	ゼミ室(1)		
	ゼミ室(2)	和室	
多目的ホール	地域住民の学びの場を提供するため、茅野市情報プラザとして施設を開放している		10:00~20:00
茅野市情報プラザ			

諏訪東京理科大学生涯学習センター事業実績

[平成17年度]

講座等の名称	内 容
「スーパーサイエンスハイスクール」 対象:長野県諏訪清陵高等学校	日 時:平成17年5月26日、6月9日 場 所:本学オープンラボ 人 数:4名 テーマ:「光トポグラフィの使用方法と指導」 講 師:共通教育センター 助教授 篠原菊紀
	日 時:平成18年1月18日 場 所:本学コンピュータ教室 人 数:20名 テーマ:「フラクタルへの招待」 講 師:システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 相原 伸一
「出前授業」	日 時:平成17年4月15日 対 象:長野県飯田高等学校 場 所:本学教室 人 数:321名 テーマ:「自分を育てる学び方の工夫 一考える力はどうしたらつくかー」 講 師:経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜
	日 時:①平成17年4月27日 ②平成17年5月11日 ③平成17年8月31日 ④平成17年9月28日 ⑤平成17年11月9日 対 象:長野県茅野高等学校 場 所:本学教室 人 数:40名 テーマ:①「失敗を成功につなげるには」 ②「超伝導リニアはなぜ超高速か」 ③「自然と遊びながら環境を考える」 ④「脳の中の脳を鍛える」 ⑤「機械制御入門」 講 師:①経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜 ②共通教育センター 教授 三井田陸郎 ③システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 奈良松範 ④共通教育センター 助教授 篠原菊紀 ⑤システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 星野祐
	日 時:平成17年6月29日 対 象:組合立甲陵高等学校 場 所:高校教室 人 数:20名 テーマ:「金融ビッグバンはなぜ行われたか」 講 師:経営情報学部経営情報学科 助教授 伊藤忠治
	日 時:平成17年7月21日 対 象:私立武蔵工業大学第二高等学校 場 所:高校教室 人 数:①30名 ②6名 ③16名 ④14名 テーマ:①「映画で英語に親しむ」 ②「超伝導リニアはなぜ超高速か」 ③「コンビニは何故はやる」 ④「何故、ものが壊れるのか?」 講 師:①共通教育センター 講師 清藤多加子 ②共通教育センター 教授 三井田陸郎 ③経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜 ④システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 西山勝廣

名 称	内 容
「出前授業」	<p>日 時：平成17年7月23日～25日 対 象：私立伊那西高等学校 場 所：本学教室 人 数：①45名 ②25名 ③20名 テーマ：①「表現の力と論証の力」 ②「心理的ストレスの仕組と対応」 ③「食生活と食ビジネスを考える」 講 師：①共通教育センター 助教授 関塚正嗣 ②経営情報学部経営情報学科 教授 田中佑子 ③経営情報学部経営情報学科 教授 山腰光樹</p>
	<p>日 時：平成17年8月1日 対 象：長野県大町北高等学校 場 所：県総合教育センター 人 数：9名 テーマ：「映画で英語に親しむ」 講 師：共通教育センター 講師 清藤多加子</p>
	<p>日 時：平成17年8月8日・9日 対 象：長野県蘇南高等学校 場 所：本学教室 人 数：20名 テーマ：①「やさしい携帯電話のしくみ」 ②「リスニングに挑戦」 ③「食生活と食ビジネスを考える」 講 師：①システム工学部電子システム工学科 助教授 松江英明 ②共通教育センター 教授 藤瀬恭子 ③経営情報学部経営情報学科 教授 山腰光樹</p>
	<p>日 時：①平成17年8月24日 ②平成17年11月30日 対 象：山梨県立都留高等学校 場 所：高校教室 人 数：280人 テーマ：①「食生活と食ビジネスを考える」 ②「やさしい携帯電話のしくみ」 講 師：①経営情報学部経営情報学科 教授 山腰光樹 ②システム工学部電子システム工学科 助教授 松江英明</p>
	<p>日 時：平成17年9月22日 対 象：長野県赤穂高等学校 場 所：高校教室 人 数：32名 テーマ：「小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説」 講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 市川純章</p>
	<p>日 時：平成17年10月14日 対 象：山梨県立甲府城西高等学校 場 所：高校教室 人 数：12名 テーマ：「ビットとは？－情報理論入門－」 講 師：システム工学部電子システム工学科 教授 江原暉将</p>
	<p>日 時：平成17年10月26日 対 象：長野県岡谷工業高等学校生産システム科 場 所：高校教室 人 数：35名 テーマ：「コンピュータシミュレーションとコンピュータグラフィックス技術」 講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 和田義孝</p>

名 称	内 容
「出前授業」	<p>日 時：平成17年11月26日 対 象：長野県諏訪清陵高等学校 場 所：高校教室 人 数：①20名 ②20名 ③20名 ④20名 テーマ：①「映画で英語に親しむ」 ②「ハリー・ポッターの仲間たち」 ③「不思議な材料博物館」 ④「小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説」 講 師：①共通教育センター 講師 清藤多加子 ②共通教育センター 教授 藤瀬恭子 ③システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 西山勝廣 ④システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 市川純章</p>
	<p>日 時：平成17年12月1日 対 象：長野県梓川高等学校 場 所：高校教室 人 数：23名 テーマ：「材料の変形と破壊のメカニズム」 講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 西山勝廣</p>
	<p>日 時：平成17年12月2日 対 象：長野県長野西高等学校 場 所：高校教室 人 数：①30名 ②30名 テーマ：①「金融ビッグバンはなぜ行われたか」 ②「機械制御入門」 講 師：①経営情報学部経営情報学科 助教授 伊藤忠治 ②システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 星野祐</p>
	<p>日 時：①平成17年12月20日 ②平成18年1月26日 対 象：長野県上伊那農業高等学校 場 所：高校教室 人 数：①42名 ②40名 テーマ：①「食生活と食ビジネスを考える」 ②「なぜわたしたちは、自然環境を守ろうとするのか？」 講 師：①経営情報学部経営情報学科 教授 山腰光樹 ②共通教育センター 助教授 関塚正嗣</p>
	<p>日 時：平成18年1月24日 対 象：私立武蔵工業大学第二高等学校 場 所：本学コンピュータ教室 人 数：36名 テーマ：「小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説」 講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 市川純章</p>
	<p>日 時：平成18年1月24日 対 象：長野県富士見高等学校 場 所：本学教室 人 数：27名 テーマ：「コンビニは何故はやる」 講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜</p>
	<p>日 時：平成18年2月10日 対 象：長野県北部高等学校 場 所：高校教室 人 数：30名 テーマ：「小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説」 講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 市川純章</p>

名 称		内 容
学校教育支援	「出前授業」	<p>日 時：平成18年3月2日 対 象：長野県須坂東高等学校 場 所：高校教室 人 数：①30名 ②30名 テーマ：①「コンビニは何故はやる」 ②「機械制御入門」 講 師：①経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜 ②システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 星野祐</p> <p>日 時：平成18年3月2日 対 象：長野県飯山北高等学校 場 所：高校教室 人 数：20名 テーマ：電子サイクロの製作 講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 星野祐</p>
		<p>日 時：平成18年3月15日 対 象：長野県上田東高等学校 場 所：高校教室 人 数：30名 テーマ：「小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説」 講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 市川純章</p>
		<p>日 時：平成18年3月28日 対 象：長野県高遠高等学校 場 所：高校教室 人 数：8名 テーマ：「人間規範型知能ロボット」 講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 細貝英実</p>
		<p>日 時：平成18年3月28日～30日 対 象：長野県豊科高等学校 場 所：本学教室 人 数：83名 テーマ：①「レオナルド・ダ・ヴィンチの夢」 ②「映画で英語に親しむ」 ③「心理学を学ぶ」 講 師：①システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 西山勝廣 ②共通教育センター 講師 清藤多加子 ③経営情報学部経営情報学科 教授 田中佑子</p>
	「サイエンス夢合宿」 主催:本学 共催:財団法人長野県科学振興会 後援:長野県教育委員会。 諏訪広域圏地域づくり事業実行委員会	<p>日 時：平成17年7月30日～31日 対 象：長野県内の小学校5・6年生の親子 場 所：本学 人 数：92名 内 容：科学全般に興味を持つてもらう身近なテーマについて実験室等を使用しての体験学習。 本学セミナーハウスに親子で宿泊して実施。 講 師：本学教員 10名</p>
市民教養支援	「チャレンジ!!サイエンスパーク2005」 主催:わくわくサイエンス推進事業 実行委員会	<p>日 時：平成17年9月11日 対 象：小学生及びその家族 場 所：松本市あがたの森文化会館 参集者：約2,000人 内 容：科学体験・創作活動等 講 師：共通教育センター 助手 斎藤隆</p>

名 称	内 容
市民教養支援	「出前授業」 日 時：平成17年4月11日 対 象：食生活改善推進協議会諏訪支部 場 所：原村中央公民館 人 数：80名 テー マ：「コンビニは何故はやる」 講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜
	日 時：平成17年6月27日 対 象：長野県諏訪保健所 場 所：諏訪合同庁舎 人 数：100名 テー マ：「食生活と食ビジネスを考える」 講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 山腰光樹
	日 時：平成17年7月7日・8月2日 対 象：茅野商工会議所青年部 場 所：本学教室 人 数：40名 テー マ：「企業成長と価値分析」 講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 田中雅康
	日 時：平成17年8月24日 対 象：茅野商工会議所 場 所：茅野商工会議所 人 数：25名 テー マ：「コンビニは何故はやる」 講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜
	日 時：平成17年11月8日 対 象：関東信越税理士会諏訪支部 場 所：諏訪商工会議所 人 数：70名 テー マ：「国際問題時事解説」 講 師：共通教育センター 教授 川上洋一
	日 時：平成17年12月3日 対 象：エンジョイライフ 三井の森 場 所：青少年自然の森 人 数：20名 テー マ：「地球を壊さない暮らし方を考える」 講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜
	日 時：①平成18年1月17日 ②平成18年3月14日 対 象：原村中央公民館 ふれあい学級 場 所：原村中央公民館 人 数：20名 テー マ：①「私たちの暮らしとエネルギー」 ②「不思議な材料博物館」 講 師：①システム工学部電子システム工学科 講師 平田陽一 ②システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 西山勝廣
	日 時：平成18年2月10日 対 象：山梨県高等学校教育研究会「教育情報・視聴覚部会」 場 所：甲府南高校 人 数：50名 テー マ：「情報社会ってどんな社会？これからどう変わっていくの？」 講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 七松敏

名 称		内 容
市民教養支援	「出前授業」	<p>日 時：平成18年3月14日</p> <p>対 象：諏訪市公民館「市民大学講座」</p> <p>場 所：諏訪市文化センター</p> <p>人 数：100名</p> <p>テーマ：「コンビニは何故はやる」</p> <p>講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜</p>
資 格 取 得 講 座	「TOEIC入門講座」「TOEIC発展講座」	<p>日 時：①入門講座 平成17年6月18日、19日、7月1日 ②発展講座 平成17年10月29日、11月5日、11日</p> <p>対 象：本学学生</p> <p>場 所：本学教室</p> <p>人 数：①3名 ②8名</p> <p>講 師：①共通教育センター 講師 清藤多加子 ②共通教育センター 教授 藤瀬恭子</p>

諏訪東京理科大学生涯学習センター事業実績

[平成18年度]

講座等の名称	内 容
「スーパーサイエンスハイスクール」 対象:長野県諏訪清陵高等学校	日 時: 平成18年11月25日(土) 場 所: 本学 テーマ: 「フラクタルへの数理」 講 師: システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 相原 伸一
「出前授業」	日 時: 平成18年4月14日(金) 対 象: 茅野市立永明小学校6年生 テーマ: 「授業参観」 講 師: 経営情報学部経営情報学科 助教授 飯田 洋市 システム工学部機械システムデザイン工学科 助教授 星野 祐 日 時: 平成18年4月25日(水) 対 象: 長野県茅野高等学校2年生 人 数: 38名 テーマ: 「総合的な学習の時間」 講 師: 経営情報学部経営情報学科 教授 田中 佑子
	日 時: 平成18年5月9日(火) 対 象: 長野県茅野高等学校2年生 人 数: 38名 テーマ: 「総合的な学習の時間」 講 師: 経営情報学部経営情報学科 講師 井上 善博
	日 時: 平成18年5月12日(金) 対 象: 茅野市立永明小学校6年生 テーマ: 「授業参観」 講 師: 経営情報学部経営情報学科 助教授 飯田 洋市ほか2名
	日 時: 平成18年6月30日(金) 対 象: 茅野市立永明小学校6年生 テーマ: 「万華鏡づくり」 講 師: 経営情報学部経営情報学科 助教授 飯田 洋市ほか2名
	日 時: 平成18年7月19日(水) 対 象: 長野県諏訪実業高等学校会計情報科3年生 人 数: 39名 テーマ: 「会計と情報分野の融合と活用方法について」 講 師: 経営情報学部経営情報学科 助教授 渡辺 竜介
	日 時: 平成18年7月21日(金) 対 象: 武蔵工業大学第二高等学校2年生 テーマ: ①「映画で英語に親しむ」 ②「小型人間ロボットの動作実演と機構の解説」 講 師: ①共通教育センター 助教授 清藤 多加子 ②システム工学部機械システムデザイン工学科 助教授 市川 純章
	日 時: 平成18年8月30日(水) 対 象: 長野県茅野高等学校2年生 人 数: 37名 テーマ: 「総合的な学習の時間」 講 師: システム工学部機械システムデザイン工学科 助教授 星野 祐

講座等の名称	内 容
学校教育支援	<p>「出前授業」</p> <p>日 時：平成18年9月12日(火) 対 象：長野県茅野高等学校2年生37名 人 数：37名 テーマ：「総合的な学習の時間」 講 師：共通教育センター 教授 篠原 菊紀</p> <p>日 時：平成18年9月21日(木) 対 象：長野県長野東高等学校1年生 人 数：約70名 テーマ：「ナノテクノロジーの世界」 講師：システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 西山 勝廣</p> <p>日 時：平成18年9月28日(木) 対 象：長野県赤穂高等学校1・2年生 人 数：25～40名 テーマ：「出前授業」 講 師：①システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 細貝 英実 ②経営情報学部経営情報学科 講師 井上 善博</p> <p>日 時：平成18年10月4日(水) 対 象：長野県茅野高等学校2年生37名 人 数：37名 テーマ：「総合的な学習の時間」 講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 助教授 和田 義孝</p> <p>日 時：平成18年10月19日(木) 対 象：長野県高遠高等学校2年生 人 数：23名 テーマ：「コンビニはなぜ流行る～やさしい流通革命のはなし～」 講 師：経営情報学部経営情報学科 講師 井上 善博</p> <p>日 時：平成18年11月7日(火) 対 象：長野県上伊那農業高等学校3年生 人 数：39名 テーマ：「コンビニはなぜ流行る＜やさしい流通革命のはなし＞」 講 師：経営情報学部経営情報学科 講師 井上 善博</p> <p>日 時：平成18年11月22日(水) 対 象：長野県中野高等学校1・2年生 テーマ：「小型人間ロボットの動作実演と動作機構の解説」 講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 助教授 市川 純章</p> <p>日 時：平成18年11月22日(水) 対 象：長野県中野高等学校1・2年生 テーマ：「私たちのくらしとエネルギー」 講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 平田 陽一</p> <p>日 時：平成18年11月24日(金) 対 象：茅野市立永明小学校6年生 テーマ：「出前授業」 講 師：経営情報学部経営情報学科 助教授 飯田 洋市</p>

講座等の名称	内 容
「出前授業」	<p>日 時: 平成18年11月25日(土)</p> <p>対 象: 長野県諏訪清陵高等学校2年生</p> <p>テーマ: ①「世界の言語と機械翻訳」 ②「ナノテクノロジーの世界」 ③「英語で映画に親しむ」 ④「金融ビッグバンはなぜ行われたか」 ⑤「ハリーポッターの仲間達」</p> <p>講 師: ①システム工学部電子システム工学科 教授 江原 嶰将 ②システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 西山 勝廣 ③共通教育センター 助教授 清藤 多加子 ④経営情報学部経営情報学科 助教授 伊藤 忠治 ⑤共通教育センター 教授 藤瀬 恒子</p>
	<p>日 時: 平成18年12月1日(金)</p> <p>対 象: 長野県長野西高等学校</p> <p>テーマ: 「機械制御入門」</p> <p>講 師: システム工学部機械システムデザイン工学科 助教授 星野 祐</p>
	<p>日 時: 平成18年12月7日(木)</p> <p>対 象: 長野県上伊那農業高等学校3年生</p> <p>人 数: 18名</p> <p>テーマ: 「環境保護のためのバイオテクノロジー」</p> <p>講 師: システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 奈良 松範</p>
	<p>日 時: 平成18年12月8日(金)</p> <p>対 象: 茅野市立永明小学校6年生</p> <p>テーマ: 「出前授業」</p> <p>講 師: 経営情報学部経営情報学科 助教授 飯田 洋市</p>
	<p>日 時: 平成19年1月12日(金)</p> <p>対 象: 茅野市立永明小学校6年生</p> <p>テーマ: 「出前授業」</p> <p>講 師: 経営情報学部経営情報学科 助教授 飯田 洋市</p>
	<p>日 時: 平成19年1月16日(火)</p> <p>対 象: 下諏訪社中学校2年生及び教員</p> <p>人 数: 38名</p> <p>テーマ: 「ハンバーガーの原価と輸出入」ほか</p> <p>講 師: 経営情報学部経営情報学科 講師 井上 善博</p>
	<p>日 時: 平成19年2月9日(金)</p> <p>対 象: 茅野市立永明小学校6年生</p> <p>テーマ: 「出前授業」</p> <p>講 師: 経営情報学部経営情報学科 助教授 飯田 洋市</p>
市民教養支援	<p>「出前授業」</p> <p>日 時: 平成18年6月7日(水)</p> <p>対 象: 下諏訪町公民館下諏訪町公民館の中高年方々対象の学級</p> <p>人 数: 約30名</p> <p>テーマ: 「脳の中の脳を鍛える」</p> <p>講 師: 共通教育センター 教授 篠原 菊紀</p>

講座等の名称	内 容
市民教養支援	「出前授業」 日 時： 平成18年7月29日(土) 対 象： 茅野市教育委員会成年男女(男女共同参画に関する講座) テーマ： 映画「北の零年」を見よう 講 師： 共通教育センター 教授 藤瀬 恵子
	日 時： 平成18年9月8日(金) 対 象： 茅野市高齢者大学学生、研究生及び聴講生 人 数： 約170名 テーマ： 「心理的ストレスの仕組みと対応」 講 師： 経営情報学部経営情報学科 教授 田中 佑子
	日 時： 平成18年9月8日(金) 対 象： 長野県伊那保健所上伊那地区栄養士研修会参加者 テーマ： 「食生活の変化と食の外部化」 講 師： 経営情報学部経営情報学科 教授 山腰 光樹
	日 時： 平成18年10月11日(水) 対 象： 関東信越税理士会諒訪支部 テーマ： 「食生活と食ビジネスを考える」 講 師： 経営情報学部経営情報学科 教授 山腰 光樹
	日 時： 平成18年10月28日(土) 対 象： 東急コミュニティ一般 テーマ： 「映画を見て、人間の生き方を考える」 講 師： 共通教育センター 教授 藤瀬 恵子
	日 時： 平成18年11月9日(木) 対 象： 軽井沢町町職員 人 数： 約200名 テーマ： 「男女共同参画社会職員研修」 講 師： 共通教育センター 教授 藤瀬 恵子
	日 時： 平成18年11月11日(土) 対 象： 東急コミュニティ一般 テーマ： 「食生活と食ビジネスを考える」 講 師： 経営情報学部経営情報学科 教授 山腰 光樹
	日 時： 平成18年12月19日(火) 対 象： 原村中央公民館ふれあい学級、原村村内在住のおおむね60歳以上 テーマ： 「小型人間ロボットの実演」 講 師： システム工学部機械システムデザイン工学科 助教授 市川 純章
	日 時： 平成19年1月25日(木) 対 象： 長野県企業年金連絡協議会 テーマ： 「出前授業」 講 師： 経営情報学部経営情報学科 助教授 伊藤 忠治
	日 時： 平成19年1月25日(木) 対 象： 茅野商工会議所茅野商工会議所青年部 人 数： 30～40人 テーマ： 「心理的ストレスの仕組みと対応」 講 師： 経営情報学部経営情報学科 教授 田中 佑子

講座等の名称	内 容
「出前授業」	<p>日 時: 平成19年1月25日(木) 対 象: 立科町 人 数: 約50名 テーマ: 「～自分らしく生きる～」 講 師: 共通教育センター 教授 藤瀬 恭子</p> <p>日 時: 平成19年2月17日(土) 対 象: 茅野市子ども科学クラブの小学4年生～中学2年生 人 数: クラブ員22名と保護者、クラブ担当者 テーマ: 「電子タイマーを作ろう」 講 師: システム工学部機械システムデザイン工学科 助教授 星野 祐</p> <p>日 時: 平成19年2月20日(火) 対 象: LCV地域経済研究会 会員 テーマ: 「成果主義経営の落とし穴」 講 師: 経営情報学部経営情報学科 教授 平田 譲二</p> <p>日 時: 平成19年2月23日(金) 対 象: 長野県理化学会 会員 テーマ: 「ナノテクノロジーの世界」 講 師: システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 西山 勝廣</p> <p>日 時: 平成19年3月10日(土)【予定】 対 象: 長野市教育委員会 人 数: 40名 テーマ: 「経済セミナー『金融環境の変化に、どう対処すべきか』」 講 師: 経営情報学部経営情報学科 助教授 伊藤 忠治</p> <p>日 時: 平成19年3月15日(木)【予定】 対 象: 東京商工会議所 会員 テーマ: 「ナノテクノロジーの世界」 講 師: システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 西山 勝廣</p>
「サイエンス夢合宿」 主催:本学 共催:(財)長野県科学振興会 後援:長野県教育委員会 諏訪広域圏地域づくり事業実行委員会	<p>日 時: 平成18年7月30～31日 対 象: 長野県内の小学校5,6年生の親子 場 所: 本学 人 数: 40組(80人) 内 容: 科学全般に興味を持つてもらう身近なテーマについて実験室等を使用しての体験学習。 　　本学セミナーハウスに親子で宿泊して実施。 講 師: 本学教員10人</p>

諏訪東京理科大学地域交流状況

1. 大学開放施設及び利用状況

[平成17年度]

(1) 図書館

一般市民の利用 ······ 77件

(2) 体育館

一般市民の利用 ······ 129件
(バレー、バスケットボール)

(3) グラウンド

一般市民の利用 ······ 97件
(サッカー、野球、ソフトボール)
(茅野市サッカー協会毎週水曜と金曜定期使用含む)

(4) テニスコート

一般市民の利用 ······ 1件

(5) 教室

検定試験への会場提供 ······ 12件

○簿記検定	3回
○秘書検定	3回
○パソコンコンピュータ利用技術検定	2回
○日本語文書処理技能検定	2回
○ビジネスコンピューティング検定	1回
○キーボード操作技能検定	1回

(6) 音楽練習室

(7) 産学官共同研究専用施設（オープンラボ、サテライトオフィス等）

(8) 生涯学習専用施設（校舎5号館）

① 一部屋を茅野市情報プラザ（地域情報化のネットワークセンター）として平成14年9月29日より貸し出す。

② 講義のできる多目的ホールを平成14年9月29日より茅野市情報プラザに貸し出し、講習会、研修会、地域公民館活動としての情報化講座開催、企業における社員のIT研修等に利用。

③ ゼミ室（1）

茅野市情報プラザ運営委員会

④ ゼミ室（2）（和室）

（9）太陽光発電設備の公開

環境・エネルギー問題への啓蒙活動として、本学の太陽光発電設備を一般に公開している。

(9) スライド等機器の貸し出し

[平成18年度] (平成19年2月28日まで)

(1) 図書館

一般市民の利用 ······ 102件

(2) 体育館

一般市民の利用 ······ 140件

(バレー、バスケットボール、空手)

(3) グラウンド

一般市民の利用 ······ 81件

(サッカー、野球、ソフトボール)

(茅野市サッカー協会毎週水曜と金曜定期使用含む)

(4) テニスコート

一般市民の利用 ······ 0件

(5) 教室

検定試験への会場提供 ······ 11件

○簿記検定 3回

○秘書検定 3回

○パソコン利用技術検定 2回

○日本語文書処理技能検定 2回

○ビジネスコンピューティング検定 1回

(6) 音楽練習室

(7) 産学官共同研究専用施設 (オープンラボ、サテライトオフィス等)

(8) 生涯学習専用施設 (校舎5号館)

⑤ 一部屋を茅野市情報プラザ (地域情報化のネットワークセンター)
として平成14年9月29日より貸し出す。

⑥ 講義のできる多目的ホールを平成14年9月29日より茅野市情
報プラザに貸し出し、講習会、研修会、地域公民館活動としての
情報化講座開催、企業における社員のIT研修等に利用。

⑦ ゼミ室(1)

茅野市情報プラザ運営委員会

⑧ ゼミ室(2)(和室)

現在のところ学内の使用のみで、学外者の利用なし。

(9) スライド等機器の貸し出し

2. 講師等の派遣(長野県関係分)

[平成17年度]

- (1) 「僕らはみんなキレイでいるって本当？」
講師： 共通教育・篠原助教授
主催： サークルこだまの会
開催日： 平成17年4月23日(日)
場所： 松本市安原地区公民館
対象： 県内小・中・養護学校の養護教諭20名程度
- (2) 「長野県数学会 高校・大学数学教育研究会」
講師： 共通教育・金井助教授
主催： 長野県数学会
開催日： 平成17年6月25日(土)
場所： 松本深志高等学校
対象： 長野県数学教
- (3) 「食生活と食ビジネスを考える」
講師： 経営・山腰教授
主催： 長野県諏訪保健所
開催日： 平成17年6月27日(月)
場所： 諏訪合同庁舎5階講堂
対象： 管内特定給食施設等管理栄養士・栄養士・調理師・調理従事者・管理者約100名
- (4) 「ストレスのしくみとその解消法」ほか
講師： 共通教育・篠原助教授
主催： 茅野市立永明中学校・PTA
開催日： 平成17年6月28日(火)
場所： 茅野市立永明中学校体育館
対象： 生徒及び保護者・教職員
- (5) 「脳のパワーアップ法」
講師： 共通教育・篠原助教授
主催： 茅野市立豊平小学校・PTA
開催日： 平成17年7月5日(火)
場所： 茅野市立豊平小学校体育館
対象： PTA会員及び児童(3~6年生)
- (6) 「講演会」
講師： 経営・田中教授
主催： ながぎんひまわり会
開催日： 平成17年7月19日(火)
場所： 本学
対象： ながぎんひまわり会
- (7) 「中信ブロック商工会議所経営指導員研究会」
講師： 経営・津久井教授
主催： 茅野商工会議所
開催日： 平成17年8月24日(水)
場所： 茅野商工会議所
対象：
- (8) 「商業教育における『ビジネス教育』について」
講師： 経営・片岡教授
主催： 長野県商業教育研究会南信支会
開催日： 平成17年9月20日(火)
場所： 諏訪実業高等学校会議室
対象： 「ビジネス教育」についての研修会
- (9) 「茅野ロータリークラブ 9月夜間例会での講演」
講師： 共通教育・篠原助教授
主催： 茅野ロータリークラブ
開催日： 平成17年9月28日(水)
場所： マリオローヤル会館
対象： 茅野ロータリークラブ会員

- (10) 「『夢と希望のある学校作りで生徒に未来を』—豊かな教育実践の交流と開かれた学校づくり
講師: 共通教育・清藤講師
主催: 松筑外国語研究会
開催日: 平成17年10月1日(土)
場所: 長野県明科高等学校
対象: 松筑支部研究集会(外国語分科会)
- (11) 「火災について」
講師: 機械・須川教授
主催: 茅野市代表監査委員
開催日: 平成17年10月13日(木)
場所: 莽科パークホテル
対象: 長野県都市監査委員会事務局事務研究会
- (12) 「脳も筋肉も鍛えよう」(脳力測定)
講師: 共通教育・篠原助教授
主催: 須坂市
開催日: 平成17年11月1日(火)
場所: 総合情報センター(須坂市)
対象: 脳力測定約50名
- (13) 「知的財産教育に関する講演」
講師: 経営・七松教授
主催: 東海大学第三高等学校
開催日: 平成17年11月17日(木)
場所: 東海大学附属第三高等学校3号館多目的ホール
対象: 3年生全員(293名)
- (14) 「脳科学からみた子育てポイント～LOVEな視線、運動、知育、手の操作、食事～」
講師: 共通教育・篠原助教授
主催: 上田市
開催日: 平成17年11月23日(水)
場所: 上野が丘公民館2階大ホール(上田市)
対象: おむね0～3歳の子をもつ親(家族)、妊婦と夫(家族)、上田市保健事業従事者
(保健師・看護師・保育士)等
- (15) 「下諏訪のこれからの街並みについて」
講師: 経営・山腰教授
主催: NPO法人 匠の町しもすわ・あきないプロジェクト
開催日: 平成18年1月14日(土)
場所: ぷらっとスペース(下諏訪町)
対象: しもすわまちづくりトーク
- (16) 「教育講演会」
講師: 共通教育・篠原助教授
主催: 岡谷市立神明小学校
開催日: 平成18年1月25日(水)
場所: 岡谷市立神明小学校
対象: 職員28名
- (17) 「平成17年度 2・3級販売士資格更新講習会」
講師: 経営・山腰教授
主催: 諏訪地区販売士会
開催日: 平成18年2月15日(水)
場所: 岡谷商工会議所3Fホール
対象: 30名(2級10名、3級20名)
- (18) 「『新エネルギーフォーラムin松本』での講演」
講師: 機械・谷教授
主催: (財)長野県テクノ財団
開催日: 平成18年2月27日(月)【予定】
場所: ホテルブエナビスタ(松本市)
対象: ナノテク・フォーラム長野会員、長野県内企業・研究者・行政関係者等

- (19) 「ボケない脳をつくる」
講師： 共通教育・篠原助教授
主催： 筑北精神保健福祉協議会
開催日： 平成18年3月13日(月)【予定】
場所： 本城農村環境改善センター
対象： 『心の健康づくり講演会』
- (20) 「『脳も筋肉も鍛えようPart2』～脳力測定結果についてと日常生活で脳を鍛える～」
講師： 共通教育・篠原助教授
主催： 須坂市
開催日： 平成18年3月28日(火)【予定】
場所： 須坂市保健センター

[平成18年度]

- (1) 「ボケない脳をつくる」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 東洋精機工業株式会社
開催日： 平成18年4月26日(水)
場所： 東洋精機工業㈱本社工場食堂
対象： 社員全員約200人
- (2) 「幼児期の脳を育てる」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 茅野市米沢保育園
開催日： 平成18年5月18日(木)
場所： 茅野市米沢保育園
対象： 園児保護者
- (3) 「脳が若返る・脳トレーニング」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 長野県保健補導員会等連絡協議会松本支部
開催日： 平成18年5月26日(金)
場所： 松本合同庁舎会議室
対象： 9市町村の保健補導員の会長・役員及び担当保健師約30名
- (4) 「初級簿記対策講座」
講師： 経営・成松助教授
主催： 茅野商工会議所
開催日： 平成18年6月～平成18年11月
場所： 茅野商工会議所
対象： 講座受講者
- (5) 「講演会」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 遅信協会
開催日： 平成18年6月17日(土)
場所： ホテル岡谷
対象： 信越郵政人連盟平成18年度総会での講演
- (6) 「PTA参観日での保健講話」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 富士見町立南中学校
開催日： 平成18年6月22日(木)
場所： 富士見町立南中学校
対象： 生徒105名及びPTA約50名
- (7) 「平成18年度 高校・大学数学教育研究会」
講師： 共通教育・金井助教授
主催： 長野県数学会
開催日： 平成18年6月24日(土)
場所： 長野県総合教育センター
対象： 長野県数学教

- (8) 「成長期の子どもの脳の発達に関する講演」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 茅野市立湖東小学校
開催日： 平成18年6月24日(土)
場所： 茅野市立湖東小学校
対象： 保護者及び職員約90名
- (9) 「顧客管理研究会」
講師： 経営・山腰教授
主催： 茅野商工会議所
開催日： 平成18年7月21日(金)、8月25日(金)、12月1日(金)
場所： 茅野商工会議所
対象： 茅野商工会議所商業委員会
- (10) 「地域の教育力を生かした実践的・体験的学习について」
講師： 経営・渡辺助教授
主催： 長野県諏訪実業高等学校
開催日： 平成18年7月25日(金)
場所： 長野県諏訪実業高等学校
対象： 学校評議委員会
- (11) 「脳活性化講演会『対人関係と脳』『ボケない脳をつくる』」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 須坂市
開催日： 平成18年7月5日(水)
場所： 須坂市役所
対象： 市職員および市民
- (12) 「心の瞳がキレる時、輝く時」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 茅野市立北部中学校PTA会
開催日： 平成18年8月30日(水)
場所： 茅野市立北部中学校
対象： 家庭教育学級・本校全校生徒並びに保護者
- (13) 「ボケない脳をつくる」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： (社)長野県連合婦人会
開催日： 平成18年9月12日(火)、9月27日(水)、9月20日(水)
場所： 本学及び蓼科八ヶ岳国際自然学校
対象： 信州婦人大学講座
- (14) 「脳のパワーアップ法～LOVEな視線、睡眠、運動、学習、尊敬～」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 売木村立売木小中学校
開催日： 平成18年9月4日(月)
場所： 売木小中学校
対象： 中学生、職員、保護者、地域住民、近隣小中学校養護教諭
- (15) 「PTA講演会」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 辰野町立辰野東小学校
開催日： 平成18年10月19日(木)
場所： 辰野町立辰野東小学校
対象： 保護者及び教職員約200名
- (16) 「ボケない脳をつくる」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 諏訪市教育委員会
開催日： 平成18年11月15日(水)
場所： 諏訪市文化センター
対象： 女性セミナー講座学級員と一般市民約100名

- (17) 「テレビ・ゲームが脳に与える影響について」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 飯田市立龍江小学校
開催日： 平成18年11月16日(木)
場所： 飯田市立龍江小学校
対象： 小学生高学年、保護者、学校職員、地域の方々約150名
- (18) 「PTA講演会」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 諏訪郡原村立原中学校・PTA
開催日： 平成18年11月9日(木)
場所： 原村立原中学校
対象： 職員及び保護者、地域の一般聴講者約100名
- (19) 「キレる、いじめる、保身する前頭葉」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 佐久教育事務所
開催日： 平成18年12月21日(木)
場所： 佐久合同庁舎
対象： 佐久管内の小中高等学校の教職員、幼稚園保育園の職員ほか教育関係者、一般参加希望者約200名
- (20) 「今後の商業教育のあり方」
講師： 片岡学長
主催： 長野県商業教育研究会東信支会
開催日： 平成18年12月4日(月)
場所： 小諸商業高等学校
対象： 長野県商業教育研究会東信支会員約30名
- (21) 「学校歯科保健研修会」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 長野県歯科医師会
開催日： 平成19年1月23日(火)
場所： 松本市中央公民館
対象： 研修会参加者
- (22) 「関心・意欲を持たせるための授業の工夫」
講師： 経営・飯田助教授
主催： 長野県総合教育センター
開催日： 平成19年1月25日(木)
場所： 長野県総合教育センター
対象： 平成18年度長野県教職員研修事業
- (23) 「茅野市保育研究集会」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 茅野市
開催日： 平成19年1月26日(金)
場所： 茅野市役所
対象： 市内保育士及び調理員
- (24) 「脳を鍛える！活性化させる！」
講師： 共通教育・篠原教授
主催： 長野県信用農業協同組合連合会
開催日： 平成19年2月20日(火)
場所： ホテルブエナビスタ(松本市)
対象： 信連中信支店職員、取引先の経営者等約40名
- (25) 「平成18年度 2・3級販売士資格更新講習会」
講師： 経営・山腰教授
主催： 諏訪地区販売士会
開催日： 平成19年2月21日(水)
場所： 茅野商工会議所
対象： 30名(2級10名、3級20名)

(26) 「ハイダンピングマテリアルの開発動向と応用」

講師： 機械・西山教授

主催： 長野県テクノ財団

開催日： 平成19年2月22日(木)

場所： 長野県工業技術総合センター

対象： 長野県の中堅中小企業経営者

(27) 「ウォーキングと脳の活性化について」

講師： 共通教育・篠原教授

主催： 茅野市東部保健福祉サービスセンター

開催日： 平成19年3月18日(日)【予定】

場所： 茅野市総合体育館

対象： 茅野市豊平・玉川・泉野地区在住の中高年50名程度

3. 高大連携事業

[平成17, 18年度]

- (1) 「スーパーサイエンスハイスクール」(平成14年度より継続)
対象:長野県諏訪清陵高等学校
内容:本学学長の運営指導委員会委員就任
本学教員の指導講師派遣
- (2) 「サイエンスパートナーシッププログラム」(平成15年度より継続)
対象:長野県駒ヶ根工業高等学校
内容:本学電子システム工学科教員の指導講師派遣
- (3) 「サイエンスパートナーシッププログラム」(平成16年度より継続)
対象:長野県内高校学校教員
内容:「身近な現象から出発する実験的数学の授業」
本学教員が指導講師
- (4) 「サイエンスパートナーシッププロジェクト」(平成18年度新規)
対象:茅野市教育委員会(市内市内3小学校5年生対象)
内容:「コマの性質を調べる講座」を通じて科学的な思考を養う。
本学教員が大学にて講座実施

4. 地域連携事業

[平成17年度]

- (1) 「上川アダプトプログラム」
実施日:平成17年4月17日(日)、6月18日(土)、10月8日(土)
主催:長野県
内容:茅野市内の河川環境をはじめ、市内全域の環境を守ろうとする市民意識の高揚を図ることを目的に、川岸の決められた範囲を学生・教職ボランティアでミ拾いを実施
- (2) 「よみがえれ諏訪湖ふれあいまつり2003」
開催日:平成17年9月11日(日)
協賛:本学
内容:機械・奈良教授及び「ホビーパーク」が簡単な科学実験でブース参加
- (3) 「第24回茅野市こどもまつり」
開催日:平成17年6月5日(日)
主催:茅野市こどもまつり実行委員会
内容:本学学生サークル「ホビーパーク」が簡単な科学実験でブース参加
- (4) 「高原の都市エコフェスタ2004」
開催日:平成17年10月16日(日)
主催:美サイクル茅野・茅野市
共催:本学
内容:環境活動の展示及び発表会を本学を会場に実施。
- (5) 「現場実習受入れ」
実施日:平成17年6月13日(月)～24日(金)
依頼先:長野県諏訪養護学校
内容:社会の実際の現場で働く体験を通して、働く意義と今後の進路選択に役立てるとの趣旨で、本学にて清掃を実施。

(6) 「長野県総合防災訓練」

実施日：平成17年10月13日（木）

主 催：長野県及び茅野市

内 容：茅野市の運動公園で実施された総合防災訓練に本学職員が参加

[平成18年度]

(1) 「上川アダプトプログラム」

実施日：平成18年4月16日（日）、6月17日（土）

主 催：長野県

内 容：茅野市内の河川環境をはじめ、市内全域の環境を守ろうとする市民意識の高揚を図ることを目的に、川岸の決められた範囲を学生・教職ボランティアでミ拾いを実施

(2) 「第25回茅野市こどもまつり」

開催日：平成18年6月4日（日）

主 催：茅野市こどもまつり実行委員会

内 容：学生サークル「ホビー部」が、簡単な工作や科学実験でブース参加。

(3) 「職場体験学習」

実施日：平成18年5月25, 26日

依頼先：諏訪南中学

内 容：2年生の女子生徒2名が、大学の事務業務を体験。

普段の学校生活とは違う環境で職業観を養うことを目的とする。

(4) 「火災予防パレード広報員の派遣」

実施日：平成18年11月4日（土）

主 催：茅野市消防団

内 容：本学の女子学生5名が、消防車で市内全域に火災予防の呼びかけと、大型店での防火チラシを配付し、火災予防活動に貢献する。

各種委員会・審議会等への派遣状況

[平成17、18年度]

各種委員会・審議会等の名称	期間	教員名
スーパー・サイエンス・ハイスクール運営指導委員会委員 (諏訪清陵高等学校)	平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	学長 重倉 祐光
学校評議委員 (長野県諏訪実業高等学校)	平成17年 平成17年12月10日～平成18年3月20日	経営情報学部経営情報学科 講師 渡辺 龍介 経営情報学部経営情報学科 教授 田中 雅康
コストエフェンシニアリング教育支援委員会 (早稲田大学理工学術院)	～平成17年4月1日～	経営情報学部経営情報学科 講師 広瀬 啓雄
永明小学校学校評議員 (茅野市教育委員会)	～平成17年4月1日～	経営情報学部経営情報学科 講師 広瀬 啓雄
国立妙高青少年自然の家施設業務運営委員 ((独)国立青少年教育振興機構)	承諾日～ 平成20年3月31日	共通教育センター 教授 菊原 菊紀
コミュニケーションワークシップ～「ことば」の達人に学ぶ～ ((独)国立青少年教育振興機構)	平成18年10月21日	共通教育センター 教授 菊原 菊紀
エコニケーション・ワークシップ～「ことば」の達人に学ぶ～ ((独)日本環境協会)	平成17年4月1日～ 平成18年3月末日	教授 奈良 松範 システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 奈良 松範
エコマーク審査委員会委員 ((財)日本環境協会)	平成17年4月1日～ 平成18年3月末日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 奈良 松範
エコマーク類型・基準制定委員会委員 ((財)日本環境協会)	平成17年4月1日～ 平成19年3月31日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 須川 修身
防災管理者等研修会に関する検討会委員長 (危険物保安技術協会)	平成17年4月1日～ 平成19年3月31日	システム工学部 学部長 谷 辰夫
評議員 ((財)長野県テクノ財団)	平成17年5月22日～ 平成19年5月21日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 須川 修身
消費者用製品PLセンター判定委員 ((財)製品安全協会)	平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 須川 修身
建築防火性能評価委員会委員 (日本ERI(株))	平成17年4月1日～ 平成19年3月31日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 須川 修身
茅野市環境審議会 (茅野市)	平成17年4月1日～ 平成19年3月31日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 須川 修身
ISO/TC92/SC2対応WG、ISO/TC92/SC4対応WG (建築・住宅国際機構)	平成17年4月27日～ 平成19年3月31日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 須川 修身
火災原因調査高度支援専門員 ((独)消防研究所)	～	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 須川 修身
防火材等専門委員会 ((財)日本消防設備安全センター))	平成17年5月1日～ 平成19年4月30日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 須川 修身
ガス系消防設備等専門委員会 ((財)日本消防設備安全センター))	平成17年5月1日～ 平成19年4月30日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 須川 修身

各種委員会・審議会等の名称	期間	教員名
地域技術開発支援事業に係る事前評価委員 (経済産業省) 客員研究官 (国土交通省国土交通政策研究所)	平成17年5月9日～ 平成18年5月8日	システム工学部 学部長 谷 辰夫
NEDO技術委員 産業技術実用化開発助成事業(省エネ・代エネ)提案審査委員会 ((独)新エネルギー・産業技術総合開発機構)	平成17年6月1日～ 平成18年3月31日	共通教育センター 助教授 篠原 菊紀
((独)新エネルギー・産業技術総合開発機構) ユビキタス機能を応用した高機能自動火災報知設備の開発 に関する検討会委員 (総務省消防庁) 病院総合情報システム選考委員 (組合立誠訪中央病院)	平成17年5月30日～ 平成19年3月31日	システム工学部 学部長 谷 辰夫
平成17年度教育用ビデオ政策委員会委員長 (危険物保安技術協会)	平成17年6月6日～ 平成19年3月31日	システム工学部機械システムデザイン工学科 授 須川 修身
技術委員会 士木・建築分野技術分科会委員 ((独)製品評価技術基盤機構)	平成17年7月1日～ 平成18年3月31日	経営情報学部 講師 奥原 正夫
技術委員会 ((独)ノロジーの倫理・社会影響に関する委員会委員 ナノテクノロジーの倫理・社会影響に関する委員会委員 ((独)物質・材料研究機構)	平成17年7月27日～ 平成19年6月30日	システム工学部 授 須川 修身
顧問 (茅野八ヶ岳そば振興会議)	平成17年7月1日～ 平成18年3月31日	システム工学部 学長 重倉 祐光
茅野市新技術・新製品研究開発事業審査会委員 (茅野市) 火災報知設備規格研究委員会委員 (日本消防検定協会)	平成17年7月29日～ 平成18年3月31日	システム工学部 学部長 谷 辰夫
交流連携推進委員会工ネルギー分科会委員 ((財)化学技術戦略推進機構)	平成17年11月14日～ 平成19年3月31日	システム工学部機械システムデザイン工学科 授 須川 修身
腦科学総合研究センター客員研究員 ((独)理化学生研究所)	平成17年11月1日～ 平成19年6月30日	経営情報学部 教授 古館 信生
国際共同研究助成事業「材料の環境情報指標の国際開発と 標準化」国内指標検討委員会委員 (新エネルギー・産業技術総合開発機構)	平成18年4月1日～ 平成19年3月31日	システム工学部電子システム工学科 講師 清水 俊治
茅野駅西口土地区画整理事業審議委員会 (茅野市) AAMT/Japio特許翻訳研究会委員 (アジア太平洋機械翻訳協会)	平成18年3月～ 平成19年9月30日	大学院工学・マネジメント研究科 教授 奈良 松範
茅野市国土利用計画審議会委員 (茅野市) エコマーケティング・基準制定委員会委員 (財)日本環境協会	平成17年5月20日～ 平成22年3月31日	経営情報学部 教授 山腰 光樹
	平成17年6月～ 平成18年3月31日	システム工学部電子システム工学科 教授 江原 増将
	平成17年9月～ 平成18年3月	システム工学部機械システムデザイン工学科 授 奈良 松範
	平成18年4月1日～ 平成19年3月末日	システム工学部機械システムデザイン工学科 授 奈良 松範

産学公連携

各種委員会・審議会等の名称	期間	教員名
エコマーク審査委員会委員 ((財)日本環境協会)	平成18年4月1日～ 平成19年3月末日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 奈良 松範
住宅用火災報知器認定基準部会 ((財)ベターリビング)	承諾日～ 平成19年3月30日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 須川 修身
特定調達品目検討会分科会 (環境省)	承諾日～ 平成19年3月31日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 奈良 松範
「脳科学からのアプローチ部会」 ((独)国立青少年教育振興機構)	平成18年7月4日	共通教育センター 教授 篠原 菊紀
火災原因調査高度支援専門員 (総務省消防庁消防研究センター)	平成18年7月10日～ 平成19年3月31日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 須川 修身
特定調達品目検討会 (環境省)	承諾日～ 平成19年3月31日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 奈良 松範
寒廻し叢麦復活再生推進事業アドバイザー (茅野商工会議所)	平成18年8月～ 平成19年2月	経営情報学部経営情報学科 教授 山腰 光樹
平成17年度教育用ビデオ政策委員会委員長 (危険物保安技術協会)	委嘱日～ 平成19年3月31日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 須川 修身
「広域共同防災組織に係る石油コンビナート等防災計画のあり方検討会」委員長 (消防庁特殊災害室)	承諾日～ 平成19年2月28日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 須川 修身
「公共工事の環境負荷低減施策推進委員会」委員 ((財)先端建設技術センター)	承認日～ 平成19年3月23日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 奈良 松範
「特定調達品目検討ワーキング」座長 ((財)先端建設技術センター)	承認日～ 平成19年3月23日	システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 奈良 松範
諒訪地域ふるさと市町村圏計画及び広域計画策定委員会 委員(諒訪広域連合)	平成18年8月21日～ 平成18年10月16日	経営情報学部経営情報学科 教授 石森 秀明
茅野市中小企業振興審議会委員 (茅野市)	～	経営情報学部経営情報学科 教授 古館 信生
販売士資格更新講習会講師 (諒訪地区販売士会)	平成19年2月21日	経営情報学部経営情報学科 教授 山腰 光樹
法人顧問 (特定非営利活動法人維新塾)	平成17年4月1日～ 平成18年3月末日	経営情報学部経営情報学科 教授 山腰 光樹

諏訪東京理科大学研究交流委員会規程

(設置)

第1条 学校法人東京理科大学業務規程(平成13年規程第6号)第30条の規定に基づき、諏訪東京理科大学(以下「本学」という。)の学長(以下「学長」という。)の諮問委員会として、本学に諏訪東京理科大学研究交流委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 産学官連携事業に関する事項
- (2) 共同研究施設の利用に関する事項
- (3) その他研究交流に関する重要事項

(組織)

第3条 委員会は、次の委員をもって組織し、委員は学長が委嘱する。

- (1) 学長
- (2) 本学の学部長
- (3) 本学の各学科から選出された専任の教授 各1人
- (4) 学長が指名する専任の教授 1人
- (5) 諏訪東京理科大学事務部長

2 委員会は、学長が招集し、その議長となる。ただし、議長に事故のあるときは、議長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

3 議長が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

(委員の任期)

第4条 前条第1項第3号及び第4号に規定する委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(専門委員会)

第5条 特定事項について調査研究を行うため、必要に応じ専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会委員は、本学の教育職員のうちから学長が委嘱する。

(細則)

第6条 この規程の施行に関し必要な細則は、委員会が定める。

(事務処理)

第7条 委員会に関する事務は、諏訪東京理科大学事務部庶務課において処理する。

附 則

1 この規程は、平成15年1月20日から施行し、平成14年10月1日から適用する。

2 第4条の規定にかかわらず、第3条第1項第3号及び第4号に規定する当初の委員の任期は、平成15年9月30日までとする。

誠訪東京理科大学研究交流委員会委員名簿

所 属	職 名	氏 名
	学 長	片 岡 寛
システム工学部	教授	谷 辰 夫
	教授	甲 藤 久 郎
	教授	西 山 勝 廣
	教授	須 川 修 身
経営情報学部	教 授	古 館 信 生
	教 授	石 森 秀 明
事 務 部	事務部長	管 嘉 典

諏訪東京理科大学地域コンソーシアム推進協議会会則

(設置)

第1条 産学公の連携によって、諏訪地域(岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村をいう。以下同じ。)における学術と技術の交流・向上を図るため、諏訪東京理科大学地域コンソーシアム推進協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(目的)

第2条 協議会は、公の支援のもと、諏訪東京理科大学を核として、諏訪地域にある企業のニーズに基づく産学共同研究開発、業種間の交流による地域産業の振興、情報化の促進等に資することを目的とする。

(事業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 産学公連携に関わる情報交換・交流に関すること
- (2) 技術開発・特許等にかかる相談に関すること
- (3) 関係機関間における連携ネットワークの構築に関すること
- (4) 研究成果公開フォーラム等の開催に関すること
- (5) プロジェクト等の設置に関すること
- (6) その他協議会運営のために必要と認める事業

(会員)

第4条 協議会は、諏訪東京理科大学及び次の各号に掲げる会員登録を行った者により構成する。

- (1) 企業会員 諏訪地域に本社、工場、研究所等を有する企業で協議会の目的に賛同する者
- (2) 賛助会員 諏訪地域にある地方公共団体、公社、財団等で、協議会の目的に賛同し、その事業遂行のために援助する者

2 会員登録を希望する者は、事務局に書面により申込を行うものとする。

3 協議会は、会員に対し主催する事業等の案内を行うものとする。

(役員)

第5条 協議会に次の役員を置く。

- (1)理事長 (2)副理事長 3人 (3)会計監事 2人 (4)理事 40人以内
- 2 理事長、副理事長、会計監事は、理事の互選により選出する。
- 3 協議会に、必要に応じ、顧問を置くことができる。

(役員の任務)

第6条 理事長は、協議会を代表し、会務を総理するとともに、理事会の議長となる。

2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるときはあらかじめ指名された副理事長がその職務を代行する。

- 3 会計監事は、会計の監査にあたる。

(任期)

第7条 理事の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げないものとする。

- 2 理事に欠員が生じた場合の後任理事の任期は、前任理事の残任期間とする。

(報酬)

第8条 役員は、無報酬とする。

(会議)

第9条 協議会に理事会を置き、次に掲げる事項を協議、決定する。

- (1) 事業計画及び収支予算に関する事項
- (2) 事業報告、収支決算及び会計監査に関する事項
- (3) 理事の選任に関する事項
- (4) 理事長、副理事長、会計監事の選任に関する事項
- (5) 会則等の改正に関する事項
- (6) 協議会の運営に関する事項
- (7) その他理事会が必要と認める事項

- 2 理事会は、必要に応じて理事長が招集する。
- 3 理事会の議事は、出席理事の過半数の同意をもって決定し、可否同数の時は理事長の決定するところとする。
- 4 理事長は、必要に応じて理事以外の者の出席を求め、意見、説明又は講義等を聞くことができる。

(会 費)

第10条 協議会は、必要に応じ、会費を徴収することができるものとする。

(経 費)

第11条 協議会の経費は、次に掲げる収入をもってこれに充てる。

- (1)会費
- (2)負担金・補助金
- (3)その他の収入

(事業年度)

第12条 協議会の事業年度は、毎年4月1日から翌年の3月末日までとする。ただし、平成15年度の事業年度は、協議会設立の日から平成16年3月31日までとする。

(事務局)

第13条 協議会の庶務等に係わる事務を行うため、茅野市経済部工業労政課(茅野市塚原二丁目6番1号)に事務局を置く。

- 2 事務局に、事務局長のほか必要な職員を置く。
- 3 事務局長は、茅野市経済部 工業労政課長をもって充て、事務局次長は、諏訪東京理科大学庶務課長及び茅野商工会議所事務局長をもって充てる。
- 4 事務局員は、茅野市経済部工業労政課、諏訪東京理科大学庶務課、茅野商工会議所の職員を充てる。

附則

この会則は、平成15年7月28日より施行するものとする。

諏訪東京理科大学共同研究施設

1. 施設概要

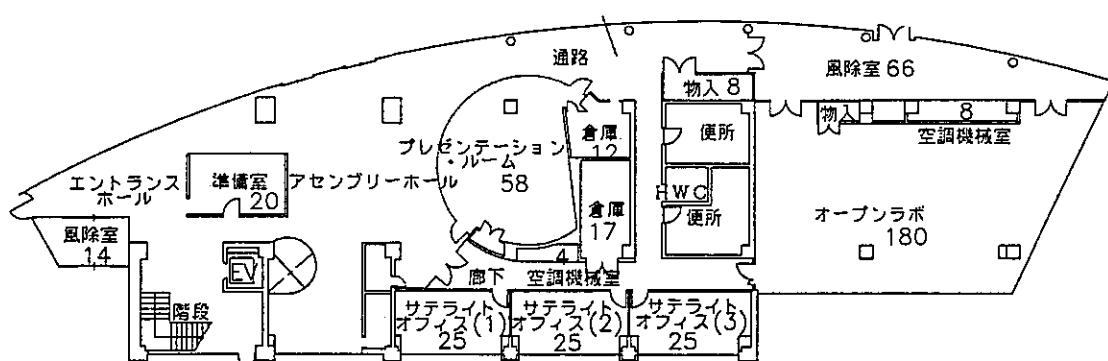
[場 所] 7号館 1階: 1518.07 m²

① オープンラボ ······ 180 m² (耐荷重: 500 kg/m²)
OA フロア

② サテライト・オフィス ······ 25 m² × 3室
机・書棚 (1室3人対応)

③ プrezentation・ルーム ······ 58 m²
AV 設備 (プロジェクター、マイク)

[平面図]



2. 受託研究・共同研究・研究助成受入れ状況 (長野県内企業分)

	共同研究		受託研究		研究助成	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成17年度	3	5,600,000	2	2,482,755	3	595,000
平成18年度	2	4,050,000	4	4,450,000	1	100,000

諏訪東京理科大学産学公研究交流事業実績

[平成17年度]

名 称	内 容
「諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会総会」 主催:諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会	日 時:平成17年8月10日(水) 内 容:産学公の連携によって、諏訪地域における学術と技術の 交流・向上をはかることを目的に平成14年に設置。 事務局の改編、平成17年度事業案の承認等 基調講演:「企業成長と新製品開発」 講 師:経営情報学部長 田中雅康教授
「公開フォーラム」 "生活を豊かにするIT" 主催:諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会	日 時:平成17年9月28日(水) 18:00～ 参加者:30名 ①「ニューロサイエンスに関する研究紹介」(電子・清水講師) ②「バーチャルリアリティとヒューマンインターフェース」(電子・平田講師) ③「新エネルギーとしての太陽光発電システム」(電子・平田陽一講師)
	日 時:平成17年10月26日(水) 18:00～20:00 参加者:15名 ①「環境マネジメントによる組織のリスク管理」(機械・奈良教授) ②「脳科学の社会応用」(共通・篠原助教授)
	日 時:平成17年11月16日(水) 18:00～20:00 参加者:23名 ①「コンピュータを使った中小企業支援と親孝行」(経営・大成教授) ②「成果主義の心理学的検討」(経営・田中佑子教授) ③「企業の逸脱行為はなぜ起きるか?」(経営・平田教授)
「環境フォーラム」 "ここに「日本のふるさと」がある" 主催:諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会	日 時:平成17年9月7日(水) 18:00～ 参加者:35名 内 容:「市民団体としての環境への取組事例について 環境プラザすわ 副会長 高林徳枝 氏
	日 時:平成17年10月20日(木) 13:00～ 参加者: 30名 内 容:「省エネルギーをめぐる最近の話題」(首都大学東京・須永准教授) 「バイオマスエネルギー利用の現状と今後」 (電力中央研究所環境ソリューションセンター長 岡野利明 氏)
	日 時:平成17年12月14日(木) 18:00～ 参加者: 24名 内 容:「市民団体としての環境への取組事例について 美サイクル茅野 会長 河西允人 氏
「経営者ゼミナール」 主催:諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会	日 時: ①平成17年8月24日(水) 18:00～ ⑤平成17年12月7日(水) ②平成17年9月14日(水) 18:00～ ⑥平成18年1月11日(水) ③平成17年10月5日(水) 18:00～ ⑦平成18年2月7日(火) ④平成17年11月9日(水) 18:00～ 参加者:(第1ゼミ)7名、(第2ゼミ)9名 テーマ:(第1ゼミ)「製造業における原価管理・利益管理」 (第2ゼミ)「流通・サービス業のマーケティング」 担 当:(第1ゼミ)経営情報学科 田中(雅)教授 (第2ゼミ)経営情報学科 山腰教授

名 称		内 容
コンソ	「マイクロ水力発電装置開発研究会」 主催:諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会	日 時:平成17年4月から11月までに12回以上開催 参加企業:6社 内 容:茅野市からの補助を受け地元企業6社と共同で、マイクロ水力発電装置を開発することになり、平成18年1月に試作機の完成を目指している。
テクノ財団関係	「産学交流ネットワーク2005」 主催:長野県テクノ財団	日 時:平成17年8月30日(火) 13:00～ 場 所:RAKO華乃井ホテル 内 容:①「社会安全のための火災防災」(機械・須川教授) ②「ヒトを対象とした計測技術と応用」(電子・清水講師) ③「情報流通分析から見た情報通信市場」(経営・七松教授)
	「諏訪圏工業メッセ2005」 主催:諏訪圏工業メッセ2005 実行委員会 後援:本学	日 時:平成17年10月13日(木)～15日(土) 場 所:旧東洋バルブ諏訪工場跡地(諏訪市) 内 容:産学官ベースに、3大学の研究内容を設備・パネルで紹介 ①「マイクロ水力発電開発研究会」②理科大・千葉研究室(大島助手) ③理科大・谷口研究室 ④西山研究室/日本ボロン ⑤松江研究室
	「経営指導員等技術研修 3年目研修」 主催:長野県中小企業振興公社	日 時:平成17年10月13日(木)13:30～ 場 所:本学 対象者:12名 内 容:本学の産学連携体制についての説明 谷科学技術交流センター諏訪センター長
	「東京理工大学イノベーション シンポジウム2005in山口」	日 時:平成17年10月7日(金) 場 所:山口グランドホテル 参加者:電子・平田陽一講師
その他	「山梨テクノフェア&マルチメディア エキスポ」 主催:山梨県機械電子工業会	日 時:平成17年11月24日(木)～26日(土) 場 所:アイメッセ山梨(山梨県立産業展示交流館) 参加企業:約120社 参加者:電子・松江研究室、機械・市川研究室 学校関係:山梨大学、山梨県立産業技術短期大学校 山梨県高等学校教育研究会工業教育部会
	「ものづくりフェア2006」 主催:テクノプラザおかや	日 時:平成18年2月17日(金)、18日(土) 場 所:テクノプラザおかや 参加者:電子・平田(陽)研究室、機械・市川研究室
	「産学官連携活動発表会」 主催:(財)やまなし産業支援機構	日 時:平成18年3月9日(木)15:00～ 場 所:アピオウェディングプラザ(中巨摩郡昭和町) 参加者:山梨県内中小企業者 約200名 講 師:機械システムデザイン工学科 西山教授 テーマ:「諏訪東京理科大学における産学連携活動について」 山梨大学知的財産経営戦略本部 田中正男 「山梨大学における産学連携活動について」
	「支援機関連絡会議」 主催:諏訪圏ものづくり推進機構	日 時:平成17年12月19日(月)10:00～12:00 場 所:RAKO華乃井ホテル 出席者:谷諏訪センター長、後藤事務部長 内 容:各機関の支援の状況や今後に向けた動向についての情報交換

名 称	内 容
ものづくり 推進 機構	「信州大学工学部と 諏訪東京理科大学との連携会議」 主催:諏訪圏ものづくり推進機構 日 時:平成18年1月19日(木)15:00~ 場 所:RAKO華乃井ホテル 参加者:(本学)谷学部長、西山主任、青木副センター長、古館教授、後藤部長 (信大)野村工学部長他6名 内 容:諏訪圏を中心とした共通課題解決のため、両大学の保有するシーズの補完・産業界よりのニーズへの整合のため、ソフトな関係でシーズの情報交換等交流をもつことを目的とする。
	「新春経営者セミナー」 主催:諏訪圏ものづくり推進機構 日 時:平成18年1月27日(金)16:30~ 場 所:浜の湯(諏訪市) 講 師:共通教育センター篠原助教授 テーマ:「ものづくりは脳を鍛える」 参加者:約50名(企業経営者等)
	「諏訪圏产学リエゾンフェア」 主催:諏訪圏ものづくり推進機構 日 時:平成18年3月2日(木)13:00~ 場 所:ホテル紅や 発表者:(電子)谷 、(機械)西山、須川、(経営)古館 内 容:大学、企業双方が忌憚なく情報交換のできる機会を設ける。

諏訪東京理科大学産学公連携事業実績

[平成18年度]

名 称	内 容
地域 コン ソ ー シ ア ム 関 係	<p>「諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会総会」 主催:諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会</p> <p>日 時:平成18年7月31日(月) 内 容:産学公の連携によって、諏訪地域における学術と技術の 交流・向上をはかることを目的に平成14年に設置。 平成18年度事業案の承認、平成18年度予算の承認等 基調講演:「市場活性化のための商品開発の方向性 ～市場を明確にできるかが鍵～」 講 師:片岡寛学長</p>
	<p>「技術経営塾」 ”5回のテーマで実施” 主催:諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会</p> <p>第1回 「組織管理」 講 師:経営情報学科 平田譲二教授 日 時:平成18年9月6日(水) 18:00～20:00 参加者:6名(塾生対象) テーマ:①戦略面での目標設定 ②トップの役割、ミドルの役割 ③「企業の社会的責任」等の今日的な問題</p>
	<p>第2回 「事例研究(1)”アスベスト対策について”」 講 師:機械システムデザイン工学科 西山勝廣教授 日 時:平成18年9月27日(水) 18:00～20:00 参加者:65名(一般参加) テーマ:「アスベスト問題が問いかけるもの」</p>
	<p>第3回 「コア－技術とイノベーション」 講 師:経営情報学科 古館信生教授 日 時:平成18年10月25日(水) 18:00～20:00 参加者:11名(塾生対象) テーマ:①「中堅・中小企業の4つのパターン」 ②「イノベーションとは？」</p>
	<p>第4回 「事例研究(2)”環境ビジネス”」 講 師:システム工学部 谷辰夫教授、奈良松範教授 経営情報学部 古館信生教授、共通教育 関塚正嗣助教授 日 時:平成18年11月15日(水) 18:00～20:00 参加者:31名(一般参加) テーマ:①「環境とビジネスは折り合えるか？」(関塚助教授) ②「太陽のめぐみをビジネスに」(谷教授) ③「グリーンヘルス;自然の水と空気を売るビジネス」(奈良教授) ④「バイオマスエネルギー－バイオジーゼル燃料の勧め－」(古館教授)</p>
	<p>第5回 「マーケティング」 講 師:経営情報学科 山腰光樹教授 日 時:平成18年12月6日(水) 18:00～20:00 参加者:11名(塾生対象) テーマ:①「マーケティング志向の経営」 ②「製品開発のマネジメント」 ③「顧客管理」</p>

	名 称	内 容
コ ン ソ ン	「マイクロ水力発電装置開発研究会」 主催:諏訪東京理科大学 地域コンソーシアム推進協議会	日 時:平成18年4月から10月までに7回以上開催 参加企業:6社 内 容:茅野市からの補助を受け地元企業6社と共同で、マイクロ水力発電装置を開発することになり、2年目の今年10月に2機の装置を完成する。
テ ク ノ 財 団 関 係	「産学交流ネットワーク2006」 主催:長野県テクノ財団	日 時:平成18年8月24日(火) 13:00~17:30 場 所:RAKO華乃井ホテル 内 容:本学、信州大学、山梨大学、松本歯科大学、長野高専の24名の研究者から企業と連携した実用化技術開発を希望する技術シーズをプレゼンテーションするとともに、各大学等の産学連携制度等について紹介。 発表者:①「ユキビタス環境における経営情報システムのIT活用について」 (経営情報学科 石森秀明教授) ②「GaN薄膜成長用新基板結晶LiGaO ₂ 」 (電子システム工学科 石井隆生教授) ③「固体材料の高速引張り試験方法とその国際的動向」 (機械システムデザイン工学科 板橋正章講師) ④「本学の産学連携体制について」 TLO・西山諏訪センター長
ものづくり 推進 機構	「諏訪圏リエゾンフェア」 主催:長野県テクノ財団	日 時:平成19年3月5日(火) 13:00~17:30 場 所:RAKO華乃井ホテル 内 容:本学、信州大学、山梨大学の若手研究者の発表を通じ、大学と企業の研究者・技術者が気軽に参加できる交流の場を設け、よりよい交流がなされることを目的に開催。 発表者:①「ベアリングレスモータ(非接触磁気支持モータ)の研究開発」 (電子システム工学科 大島政英講師) ②「実写映像を用いたバーチャルウォークスルー」 (電子システム工学科 平田幸広教授) ③「銅酸化物高温超伝導体のトンネル分光研究」 (機械システムデザイン工学科 宮川宣明助教授) ④「ロボティクスの現状と未来」 (機械システムデザイン工学科 宮前健裕助手) ⑤「イノベーション・マネジメント:製品から商品へ」 (経営情報学科 平尾毅講師)
	「信州大学工学部と 諏訪東京理科大学との連携会議」 主催:諏訪圏ものづくり推進機構	日 時:平成18年7月13日(木) 15:00~17:00 場 所:本学、マリオローヤル会館 参加者:(本学)西山学部長、古館学部長、谷研究科長、宮澤主任、 荻野コーディネーター、管事務部長、牛山庶務係長 (信大)山沢工学部長他6名 (ものづくり)細川常務理事他6名 内 容:諏訪圏を中心とした共通課題解決のため、両大学の保有するシーズの補完・産業界よりのニーズへの整合のため、ソフトな関係でシーズの情報交換・情報交換等交流をもつことを目的とする。

名 称	内 容
「飯田産業技術交流会」 主催:飯田市 (財)飯伊地域地場産業 振興センター	日 時:平成18年7月7日(金) 13:00~17:30 場 所:シルクホテル(飯田市) 内 容:本学、明治大学、信州大学、名古屋工業大学、長野高専の産学連携 支援機関の展示と研究シーズ発表会、交流会を実施 発表者:①「太陽エネルギー複合システム」(電子システム工学科 谷辰夫教授) ②「職場の心理的ストレスと人間関係」(経営情報学科 田中佑子教授)
「飯田産業技術大学校 経営管理コース」 主催:飯田市 (財)飯伊地域地場産業 振興センター	日 時:平成18年7月から平成19年3月までの指定日 場 所:(財)飯伊地域地場産業振興センター 内 容:次期経営者候補及び若手技術者、管理者を対象に経営管理に関する 人材育成講座。 講 師:①「品質管理」(経営情報学科 奥原正夫助教授) ②「組織管理」(経営情報学科 平田譲二教授) ③「人事・労務管理」(経営情報学科 田中佑子教授) ④「技術経営」(経営情報学科 古館信生教授) ⑤「原価管理」(経営情報学科 成松恭平助教授) ⑥「マーケティング」(経営情報学科 山腰光樹教授)
その他 「茅野市工業振興協議会 公開講演会」 主催:茅野市	日 時:平成18年7月11日(火) 17:00~18:00 場 所:マリオローヤル会館(茅野市) 内 容:市内各社の諸問題解決のため、切欠となるための講演会を実施。 テーマ:「市場活性化のための商品開発の方向性 ～地域密着のあり方を探る～」 講 師:片岡寛学長
「諏訪東京理科大学 イノベーションシンポジウム」 (東京理科大学 イノベーションシンポジウムin諏訪)	日 時:平成18年10月19日(木)~21日(土) 場 所:諏訪湖イベントホール、RAKO華乃井ホテル 内 容:「諏訪圏工業メッセ2006」の特別共催として実施 ①ブース展示(12テーマ) ②セミナー(MOT 坂本教授、済藤教授、経営情報学科 古館教授) ③特別講演:テーマ「日本のものづくり中小企業の将来 講 師/一橋大学大学院 伊丹敬之教授
「山梨テクノフェア&マルチメディア エキスポ」 主催:山梨県機械電子工業会	日 時:平成18年11月22日(水)~24日(金) 場 所:アイメッセ山梨(山梨県立産業展示交流館) 参加企業:85ブース(来場者13,865名) 参加者:マイクロ水力発電装置展示 学校関係:山梨大学、山梨県立産業技術短期大学校 山梨県高等学校教育研究会工業教育部会

参考資料（掲載は省略いたします。）

- 1 諏訪東京理科大学大学案内 2007
- 2 諏訪東京理科大学大学院案内
- 3 諏訪東京理科大学「ものづくり工房」パンフレット
- 4 RIDAI SCITEC
- 5 「出前授業」講座一覧（2005, 2006）
- 6 諏訪東京理科大学フォーラム・ゼミナール 2005
- 7 技術経営塾 2006
- 8 諏訪東京理科大学イノベーションシンポジウム